

平成26年度 事業総括

京都市男女共同参画センター開館20周年を迎えた平成26年度は、今後の協会活動の基本方針となる「ビジョン・未来へのつばさ」を策定いたしました。ビジョンに描かれた協会の理念を、役職員全員が共有し、目指すべき姿として、日々精進していきたいと考えています。

また、平成27年度より当センターの4年間の指定管理者として、京都市より指定され、その応募時に作成した「中期経営計画」に基づき、事業を展開していく予定です。

このように、経営理念や方針が固まってきた中で、職員の人材育成は急務であり、今後、計画的に研修を実施していきます。

事業運営では、基本方針の「連携と協働」の意義を感じた1年となりました。

防災事業や女性の活躍推進事業では、特に地域のさまざまな人や組織とパートナーシップを組み充実した事業を実施することができました。防災事業では地域の防災意識の高まりも受け、多くの参加者を得ることができました。女性の活躍推進事業では、当事者である女性と、働く女性を取り巻く環境の側面からアプローチした事業を展開いたしました。

また、相談事業では大学相談室に相談員を派遣する事業を受託し、相談事業拡充の1歩を踏み出しました。

このように当協会の基本方針が明確になったことで、事業の展開方法も少しずつ改善され、単年度だけの事業だけでなく十分な準備期間をかけることで継続性のある発展した事業の実施に向け今後も取り組んでまいります。

<5年間推移>

		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
入館者数	人	489,997	498,482	506,400	504,342	483,970
施設平均利用率	%	85	87	90	92	90
施設使用料収入	千円	61,206	61,703	63,878	67,344	66,442
図書情報室利用者数	人	14,862	14,189	12,727	12,767	14,041
正味財産期末残高	千円	—	157,885	172,897	159,625	148,532

公益目的事業別体系図

公益目的事業1(定款第4条)

		頁	
1. 男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供 (第1号)	(1) 図書資料の収集と提供	6	
	(2) 図書事業	① ブックフェア開催・ブックリスト発行・お話をきくおはよう会/朗読を聞く会	7
	(3) 情報発信事業	① インターネットでの情報発信	8
		② 啓発誌・講座案内の発行	9
		③ デートDV調査報告/グチコレジェンダー分析	10
	2. 男女共同参画社会の形成のための調査及び研究 (第2号)	調査研究	② 既存の行政資料の収集・分析
③ 男性の働き方調査研究事業			12
3. 男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援 (第3号)			(1) 真のワーク・ライフ・バランス推進事業
	② 女子学生就職前講座	14	
	③ 働く女性対象講座	15	
	④ 理系女子応援講座	16	
	⑤ ワーク・ライフ・バランス講演会	17	
	⑥ 働く女性のネットワーク構築	18	
(2) 企業・地域への男女共同参画推進事業	① みんなで考える男女共同参画講座	19	
	② 女性の視点で見る防災	20	
	③ 親子で楽しむコンサート	21	
	④ ミニシネマ&トーク	22	
	⑤ DV予防講座	23	
	⑥ 女性の活躍推進シンポジウム	24	
	⑦ 女性活躍加速化事業	25	
(3) 教養・健康増進事業	① 運動実技講座	26	
	② うた講座	27	
	③ その他 教養講座	28	
(4) 保育事業	事業参加者の保育	29	
	① 施設利用者の保育 親子のふれあい広場		

公益目的事業2(定款第4条)

		頁	
4. 男女共同参画に関する相談 (第4号)	(1) 相談業務	① 一般相談	30
		② 専門相談	
	(2) 相談事業	① DV被害当事者のための自立支援講座	31
		② グループ相談会	32
		③ 大学相談室派遣事業	33
	(3) 関係機関連携/京都市男女共同参画苦情・要望等処理制度の受付		34

公益目的事業3(定款第4条)

		頁	
5. 男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進 (第5号)	(1) 地域コミュニティ活性化の促進事業	① ウイングス・フォーラム	35
		② 映像フェスティバル	36
		③ センター利用者や地域との協働事業	37
		④ 人権・男女共同参画研修(中京ふれあい人権講座)	38
		⑤ ピンクリボン活動啓発事業	39
	(2) ドメスティック・バイオレンス対策事業	① DV・性暴力被害者支援講座	40
		② インストラクター活用事業	41
		③ DV被害者当事者のための居場所づくり事業	42
		④ WEN-DO護身術講習会	43
		⑤ パープルリボンの取り組み	44
	(3) 人材・団体育成事業	① 市民活動サポート事業	45
		② 共催・後援事業 講座受講生のグループ育成	46
	(4) 京都市男女共同参画センターの目的利用団体に対する施設管理業務		47

収益事業

	頁
京都市男女共同参画センターの目的利用以外への施設管理業務	49

財団運営

	頁
経営管理、組織・人事管理	50
財務運営	52

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供	条項	第1号		
事業名	図書資料の収集と提供	事業企画課			
講座名					
目的	男女共同参画推進拠点としての情報発信力の向上 1. 男女共同参画に関する情報・資料の収集 2. 図書情報室利用者への適切なレファレンスの実施				
対象					
事業費	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
	1,100	1,151	△ 51		

事業の計画

1. 事業計画
<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画に関する情報・資料の収集 図書資料に限らず、コミックやDVD、行政資料等により、男女共同参画に関する情報提供を行う。 ・図書情報室利用者への適切なレファレンスの実施 ・ヤングアダルトコーナーの設置(新規)
2. 課題
利用拡大。特に10～20代の若年世代の利用者の増加
3. 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・別紙1-1「平成26年度 図書資料の収集と提供」参照(54p.) ・別紙1-2「平成26年度 図書情報室アンケート」参照(55p.)
4. 概要と成果
<p>図書をはじめとする様々な男女共同参画に関する情報・資料の収集により、地域の図書室として利用いただいている方から、専門資料を求める方まで幅広く情報提供を行う事ができた。</p> <p>26年度の貸出利用者数は14,041人(25年度 12,767人)と大雨による浸水で3日間閉室したにもかかわらず、1割弱増加した。また10代の利用者は292人(25年度 236人)と2割強増加していることから、課題に対する成果が見られた。2年目となるインターネットサービスの利用者が全体の3%であることを踏まえ、今後はより多くの方にインターネットサービスの利便性を伝える取組を実施していきたい。</p>

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供	条項	第1号		
事業名	図書事業	事業企画課			
講座名	ブックフェア開催・ブックリスト発行・お話をきくおはよう会／朗読を聞く会				
目的	男女共同参画推進拠点としての情報発信力の向上				
対象					
事業費	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
	700	700	0		

事業の計画

1. 事業計画
<ul style="list-style-type: none"> ・ブックフェアの開催(年4回) 主催事業と関連したテーマによる図書資料等の紹介 絵本・コミック等多様な媒体を用いての男女共同参画推進のための情報発信 特に中高生世代を対象とした資料による、若年世代への啓発と情報発信 ・ブックリストの発行 主催事業のテーマや男女共同参画に関する季節のトピックに合わせた関連資料、リストの発行 ・絵本や朗読の自主グループとの連携による図書情報室内での絵本の読み聞かせや朗読を聞く会の開催(月1回)
2. 課題
既存の資料を使った効果的な情報提供と利用者拡大 実施時間帯のニーズ把握と協力団体の確保
3. 実績 および4. 概要と成果
<p>【ブックフェアの開催】 男女共同参画週間「新しい自分を発見する！家事って、面白い！6/2～6/30 【ブックフェアの開催】・ピンクリボン月間「Think! Pink Ribbon」9/26～10/30・10.11国際ガールズ・デー 女の子たちの、いま9/25～10/30・親子コンサート うたっておどって！絵本の世界で！3/2～3/30 【ブックリストの発行(ブックフェア以外)】 パープルリボン月間「女性と子どもがこころから安心できる未来をつくろう」(11月) 【ミニブックフェアの開催】男女共同参画って誰のもの！？(参画通信別冊発刊)/トーベ・ヤンソン 生誕100周年/いろいろな働き方・生き方を知る(WLB講演会)/「赤毛のアン」の世界(村岡花子特集)/戦いが遺したもの(終戦記念日)/上手な老い方(敬老の日)/家族と法律 とても身近な私たちの話(夫婦別姓) 【「おはよう会」及び「朗読を聞く会」の実施】 絵本や朗読の自主グループとの連携により、図書情報室内で絵本の読み聞かせや朗読を聞く会を月1回実施した。・絵本や朗読の4団体と連携した、ジェンダーの視点のある本の語りを含む絵本の読み聞かせや朗読を聞く会を開催し、12回のべ206名の参加があった。</p>

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供	条項	第1号		
事業名	情報発信事業	事業企画課			
講座名	インターネットでの情報発信				
目的	事業案内・新着図書などをホームページやメールマガジンで紹介する。 また、ブログ、Facebook、Twitterなど、即時性と拡散性を備えた情報ツールを利用して効果的な情報提供を行う。				
対象					
事業費	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
	1,050	1,043	7		

事業の計画

1. 事業計画
<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページの更新(月1回) ・ メールマガジン「Wings プレス」(月1回・号外) ・ 図書情報室ブログ「まちなかの本の森」(随時) ・ Facebook(随時) ・ Twitter(随時)
2. 課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 効果的な情報提供とセキュリティ対策 ・ SNSによる広報効果の計測と分析 ・ 職員のテクニカルスキルの向上
3. 実績
別紙2「インターネットでの情報発信」参照(57p.)
4. 概要と成果
<p>ホームページについては、正確な情報提供のため、更新前に各担当が内容を画面で確認できるよう、テストページを構築し、運用を開始した。</p> <p>昨年に比べホームページの閲覧数は伸びたが、携帯サイトの閲覧数は下降している。主な原因として、スマートフォンユーザーの増加が考えられ、利用者のモバイル環境に合わせたシステムの見直しが今後の課題となる。</p> <p>SNSの広報効果については、即時性のあるトピックスはTwitterやFacebookで発信し、口コミの広がりをねらうとともに、情報の詳細を確認できるホームページへとつなげた。ホームページへのアクセス解析によると、Facebook経由のアクセスが2位(モバイル)4位(PC)と増加しており、効果が見られた。</p>

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供	条項	第1号		
事業名	情報発信事業	事業企画課			
講座名	啓発誌・講座案内の発行				
目的	男女共同参画に関する情報発信				
対象					
事業費	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
	2,101	1,882	219		

事業の計画

1. 事業計画
<p>啓発誌(男女共同参画通信)の発行 本冊 年3回(各20,000部) 別冊 年1回(10,000部)</p> <p>講座案内(ウイングスきょうと)の発行 年6回(各8,000部)</p>
2. 課題
<ul style="list-style-type: none"> ・啓発誌(男女共同参画通信) ・タイムリーで訴求効果のあるテーマの選定
3. 実績
<p>「京都市男女共同参画通信」の発行 【体裁】本冊:A5版 カラー 4ページ/別冊:A5版 カラー 16ページ 各20,000部 【配布先】市内各文化施設 市内大学 他都市関連機関等 【タイトル】vol.37「男性の介護」9月 別冊 「働く女性の活躍推進」11月 vol.38「若者のデートDVを防ぐために～高校生への意識調査を基に考える」1月 vol.39「防災に活かす、女性のちから。」 3月講座案内</p> <p>「Wings Kyoto」の発行 【体裁】A4版 単色 4ページ 4.5月号 7,500部 その他 各8,000部 偶数月1日発行 【配布先】市内各文化施設 市内大学 他都市関連機関等</p>
4. 概要と成果
<p>「京都市男女共同参画通信」について より多くの市民、事業者等に男女共同参画について理解してもらうため、身近なテーマを取り上げ、絵や数値、グラフ等を用いてわかりやすく解説する啓発冊子「男女共同参画通信」を発行した。本冊においては、「男性と介護」「若者のデートDV」「女性と防災」、別冊においては「女性の活躍推進」をテーマに取り上げた。タイムリーで訴求効果のあるテーマ選定を心掛け、日本の成長戦略の一つとして注目された『女性の活躍推進』や、調査研究や防災ノートなどの成果物と共に訴求できるテーマなどを中心に取り上げた。</p>

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の形成のための調査及び研究	条項	第2号		
事業名	調査研究	事業企画課			
講座名	①デートDV調査報告 / ②グチコレジェンダー分析				
目的	①デートDV調査報告 DV防止法が適用されず対策が遅れている若い世代での恋人間の暴力(デートDV)について、昨年度までに実施した若者の意識調査をもとに、予防教育につなげるための政策提言に向けた下地をつくる。 ②グチコレジェンダー分析 街ゆく人々の愚痴を集めたグチコレクションをジェンダーの視点で読み解く。				
対象					
事業費	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
	1,020	998	22		

※「既存の行政資料の収集・分析」と合わせた事業費

事業の計画

1. 事業計画
デートDV調査報告 京都市域に拠点を置く高等学校に在籍する学生を対象に実施したデートDVに関する意識調査の結果をもとに、今後の予防啓発につなげる。
2. 課題
具体的な政策提言に向けたルートの開拓
3. 実績
①デートDV調査報告 前年度に作成したデートDV意識調査報告書の配布を行うとともに、このデータをもとにして、新たに高校生を主な対象とした啓発誌を作成した。 ②グチコレジェンダー分析 龍谷大学学生が主体となって活動しているグループが集めたグチ(1,000名分)をジェンダーの視点で読みとき、分析を実施。WEB上で発信した。
4. 概要と成果
①デートDV調査報告 新たなツールを作成したが、課題であった連携先を拡大するまでには至らなかったため、今後も取り組みを続けていきたい。 ②グチコレジェンダー分析 単なるグチの中にも、性別役割分担意識が影響していることが発見できた。ジェンダー問題とは全く接点のない団体との協働であったが、男性カウンセラーの協力も得て、興味深い内容となった。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の形成のための調査及び研究	条項	第2号		
事業名	調査研究	事業企画課			
講座名	既存の行政資料の収集・分析				
目的	くらし、意識、教育、社会参画、労働、健康福祉などの項目について、既存の行政資料を利用し、京都市の男女共同参画の現状を表とグラフで表したデータブックを作成する。				
対象					
事業費	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
	1,020	998	22		

※「デートDV調査報告」と合わせた事業費

事業の計画

1. 事業計画
「男女共同参画データブック」の作成
2. 課題
有効な利用促進
3. 実績
<p>データ項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 男女共同参画に関する意識 2. 男女共同参画の現状 3. ワーク・ライフ・バランスの推進 4. 女性に対する暴力 5. 京都市男女共同参画推進条例 6. 女性の人権・男女共同参画に関する国内外の動き 7. 京都市男女共同参画センター ウィングス京都の紹介 8. 「みんなで考える男女共同参画講座」の紹介
4. 概要と成果
<p>男女共同参画に関連する政府公表資料、京都市が発行した行政資料をもとに、男女共同参画データブックを作成した。主に「みんなで考える男女共同参画講座」のテキストとして使用するほか、館内で配布を行った。</p> <p>今年度は、男性の課題として男女共同参画を捉えることを意識し、育児・介護・DVに関する新たなデータを加えた。また、女性の社会参画の現状について、成果目標を明確にするなどの工夫を行った。</p>

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の形成のための調査及び研究	条項	第2号		
事業名	調査研究	事業企画課			
講座名	男性の働き方調査研究事業(★)				
目的	男性にとっての男女共同参画を考えるために、男性の働き方について調査・分析をおこなう。				
対象					
事業費	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
	2,000	0	2,000		

事業の計画

1. 事業計画
単年度ではなく2年をめどに男性を取り巻く社会の変化や個人の意識の変化について、大学・企業と協働で調査・分析を行い、報告書としてまとめる。
2. 課題
大学や企業との連携。報告書の活用にむけた今後の取り組み。
3. 実績
平成27年3月31日現在、進行中。
4. 概要と成果
平成27年3月31日現在、進行中。

★20周年記念事業準備資金により実施

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3号		
事業名	真のワーク・ライフ・バランス推進事業	事業企画課			
講座名	男性にとっての男女共同参画				
目的	男女共同参画の視点から、男性が育児・家事に取り組むことの必要性を啓発するとともに、子育てにかかわる醍醐味や家事の楽しみ方について考える。				
対象	未就学児を子育て中の父親				
事業費	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
	445	233	212		

事業の計画

1. 事業計画
<p>男性を対象に、正しい家事・育児の知識やコツを伝えることで、家事・育児が得意になり積極的にそれらに参画できるきっかけを提供する。</p> <p>比較的男性にも興味を持てる「家事家電」等をテーマに連続講座を展開する。</p>
2. 課題
<p>男性にとって魅力的なテーマや講師の選定。男女共同参画の視点の盛り込み。企業との連携。</p>
<p>3. 実績 回数(4) 定員(16) 応募者数(18) 参加延数(46) 定員充足率(112.0%) ※調理実習の運営などを考慮し定員を16名と設定したが、2回目以降、参加希望者2名を受け入れた。</p> <p>『パパ&ママW応援!! Papaカレッジ』全4回</p> <p>①平成27年2月14日(土)『ママも笑顔♪ 家族を笑顔にする簡単&クイックレシピ』</p> <p>②平成27年2月21日(土)『もしもの“子どもの看護”A to Z/パパの育休インフォメーション』</p> <p>③平成27年3月7日(土)『今こそパパヂカラを! ~子どもの成長×父親の成長~』</p> <p>④平成27年3月14日(土)『夫婦円満の秘訣は「家事シェア」~家事ってオモシロイ~』 ／修了証書授与式</p>
4. 概要と成果
<p>講師には父親としてのロールモデルを起用し、4回にわたり料理、看護、育児休業、育児、家事全般、夫婦間コミュニケーションについて学習。アフタートークなどで同じ境遇にある受講生間の交流が学習効果を促進し、今後は主体的なグループ化が期待される。</p> <p>全体を通じ受講生の満足度は100%と非常に高く、セミナー終了後も継続して家事・育児へ積極的に取り組んでいる報告が、本人ならびにパートナーから多数寄せられている。</p> <p>最終回の修了証書授与にともないパートナーとも連絡を取ってきたが、このセミナーへの期待は当初より高く、結果として満足度も本人同様に高い結果となった。</p> <p>来年度以降の実施や回数の増加を求める声も寄せられており、『mamaカレッジ』や『ふれあい広場』との連動、広報強化が期待できる。</p> <p>上記課題に挙げた講師選定については内容、男女共同参画の視点、受講者満足度から適任であったと思われるが、料理に関しては関西圏内を拠点に活動する講師を選抜する必要がある。企業との連携に関しては取り組みが不十分であったが、市内にある親子カフェなどの協力を獲得でき、今後の子育て世代への広報先として有力となる。</p>

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3号		
事業名	真のワーク・ライフ・バランス推進事業	事業企画課			
講座名	女子学生就職前講座				
目的	就活前の時期に、社会の現状を知り、ジェンダーの気づきを得ることで、社会的・経済的に自立できるライフプランを考える。				
対象	高校生以上の女子学生				
事業費	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
	330	94	236		

事業の計画

1. 事業計画
<p>学生の自発性を促すためワークショップを主とし、なおかつ学生間の相互交流から各自活動の幅を広げるプログラムを盛り込む。</p> <p>①女子学生の就活事情と女性の就労事業、②私のライフデザインを考える、③大学生活を充実するためのプランニング、など順序立てた組み立てとする。</p>
2. 課題
<p>学生の参加者確保と男女共同参画の視点の落とし込み。</p>
<p>3. 実績 回数(2) 定員(20) 応募者数(28) 参加延数(52) 定員充足率(140%) ※大学生を中心に、大学院生、専門学校生、高校生から定員を上回る応募があり、拡大して受け入れた。</p> <p>『就活成功へのガールズセミナー』全2回 ①平成26年12月7日(日) 「“I'm OK”!? 就活を乗り切る自己肯定感情を高めるワークショップ」 ②平成26年12月21日(日) 「目からウロコ! 大学では教わらない女子学生のための就活テクニック」</p>
4. 概要と成果
<p>課題としていた集客も、前年までと比較し京都市内の大学、短期大学、専門学校、特に女子大学を中心に広報先を拡大したことによって、定員を大きく上回る応募があった。企画当初は、女子学生を対象としたセミナーで校外を会場として実施することで集客の苦戦も想定されていたが、定員充足率140%によって払拭された。開催時期、プログラム内容、チラシデザイン如何で集客可能で、今後も「大学のまち」「学生のまち」の特色を活かした企画の見込みができた。</p> <p>男女共同参画の視点に関しては、第2回目において男女共同参画の情報を組み込み、なおかつキャリア継続の重要性とそのための就職活動に求められる視点や方法が的確にレクチャーされた。受講者の満足度も97%と、女子学生にとって収穫のある内容となった。</p>

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援			条項	第3号
事業名	真のワーク・ライフ・バランス推進事業			事業企画課	
講座名	働く女性対象講座				
目的	女性がジェンダーに捉われることなく、主体的に働くことの意義を感じ動機付けを考えることで、楽しみながらキャリア構築する機会を提供する。				
対象	働く女性				
事業費	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
	430	312	118		

事業の計画

1. 事業計画
<p>①両立支援講座：全2回 育児との両立に不安を感じている女性を対象に、再就職支援も含めて、働く母親が就業継続するためのスキルとモチベーションを上げる講座を実施する。</p> <p>②非正規などの就労支援講座：全3回 キャリア構築に障害があると感じる非正規就労などの女性を対象に、自分の可能性を見つめ直す講座と働き方の多様性からキャリア構築を考える講座を開催する。</p>
2. 課題
各対象に響く広報と連続講座の参加率
<p>3. 実績 回数(4) 定員(70) 応募者数(127) 参加延数(91) 定員充足率(130%) ※定員を上回る応募があり、拡大して受け入れた。</p>
<p>①両立支援講座「mamaカレッジ」全2回 【日時】 9/26(金)10:00~12:00、10/7(火)13:00~15:00 【講師】 久保田薫(ソニー生命保険株式会社ライフプランナー) 従来の講座から講座名や内容をリニューアルし、定員を上回る応募者を獲得した。</p> <p>②非正規などの就労支援講座「キャリアブーケ講座」全2回 【日時】 7/4(金)、7/25(金)18:30~19:00 【講師】 中山咲子(カフェオーナー) 吉田由利香(映画館館長) 新見訓子(キャリアカウンセラー) 20代・30代の参加者を多く獲得できた。</p>
4. 概要と成果
<p>①両立支援講座 スキルアップとモチベーションアップを図り、アフター会では就業継続に関する不安とその乗り越え方を語り合った。講座参加者全員がアフター会に参加したことは、受講満足度の表れと言える。また、3ヶ月後に実施した女性活躍推進事業へ参加された方も多く、活躍推進につながる両立支援講座となった。</p> <p>②非正規などの就労支援講座 ロールモデルトークを実施して自立して生きるための職業観を確立するきっかけを提供した。さらに、交流分析テストを行い、自分の性格・趣向・現在の心境などを深く知り、職業の適正を広げるとともに、ジェンダー意識への気づきと啓発を行った。</p>

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援			条項	第3号
事業名	真のワーク・ライフ・バランス推進事業			事業企画課	
講座名	理系女子応援講座				
目的	① 女子小学生に対し、理科に興味をもつ“きっかけ”づくりを行う。 ② 子どもの興味関心、進路選択に影響を与える保護者に対しても、理科(科学)への関心を促すとともに、内包するジェンダーの問題への気づきを促す。				
対象	小学生女子とその親(父母のいずれか)				
事業費	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
	445	448	△ 3		

事業の計画

1. 事業計画
女子小学生を対象とした理科教室を通常の講座3回、サイエンスショーと保護者向け企画を組み合わせたイベント1回、全4回から構成し開催。小学生の発達段階を考慮し、より主体的な参加につながる企画を用意。3回にわたる通常講座は、生物・化学・物理それぞれにテーマに設定し、多角的な理科への興味関心を促す。
2. 課題
協働団体とのジェンダー視点の共有からはじまり、従来の参加対象が母子に限定していたことを見直し、父子の関係について再検討する。
3. 実績 回数(4) 定員(60) 応募者数(88) 参加延数(288) 定員充足率(126.6%) ※定員30組(60名)に対し40組以上(88名)の応募があり、4組(8名)を追加で受け入れた。
『未来のリケジョを応援! 科学をもっと好きになる楽しい実験教室!!』 全4回 ①7月12日(土)「食べ物や飲み物にかくされた科学をさぐる」 ②8月9日(土) 【子ども対象】「みんなでチャレンジ! エネルギーサイエンスショー」 【保護者対象】「理科っておもしろい!!」を自覚するとき~リケジョを育てる 家庭で大切にしたいこと~」 ③9月13日(土)「食べ物? 生き物? ~おじゃこの世界をのぞいてみよう~」 ④10月18日(土)「ひかりの不思議と出会おう ~ようこそ光の世界へ~」
4. 概要と成果
「科学クラブ26」と業務提携を図り、京都市教育委員会の後援と同志社女子大学大黒ゼミの協力を受けて開催。前年度受講者ほか、広報先の拡大により40組以上の応募があった。全回とも出席率は90%、受講満足度は親子ともに96%であった。 今年度の特徴として、まず受講対象をこれまでの母子限定から父子での参加も受け入れ、全4回を通じて5名の父親が参加。プログラム構成においては、理科の主分野となる化学・生物・物理をバランスよく組み込み、子どもたちに偏りのない興味関心を引き出した。 また8月には、夏休み特別企画を実施し子どもたちはホールで大掛かりな実験を、そして保護者は、現在理科教員を養成している大学教員を講師に迎え、子どもの理科への興味関心の引き出し方とその育み方を、男女共同参画の視点も取り入れ講義を行った。 続いて9月には、理系分野で活躍する親子をそろって講師に迎え、親子モデルとして親子の関わり方や育て方についてトークショーも取り入れ大変好評であった。いずれも当センターならではの試みであり、今後も特色の一つとして継続していきたい。 そして、セミナー受講後の理科への姿勢や進路、親子間の関わり方の変化などについての追跡調査を全家庭から承諾を得たことにより、事業評価や事業の発展に役立てたい。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援			条項	第3号
事業名	真のワーク・ライフ・バランス推進事業			事業企画課	
講座名	ワーク・ライフ・バランス講演会				
目的	仕事と家庭の調和をはかり、自分らしい生き方を提案するための講演会を実施する。				
対象	一般市民				
事業費	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
	770	603	167		

事業の計画

1. 事業計画
全1回 講演会(イベントホール)実施
2. 課題
ジェンダーの視点での内容設定と集客に向けた広報先の獲得。他の講座との連携。
3. 実績 回数(1) 定員(240) 応募者数(83) 参加延数(89) 定員充足率(37%)
<p>【日時】 3/28(土)14:00～15:30 全1回</p> <p>【講師】 菊地幸夫(弁護士)</p> <p>【講演会名】 「ワーク・ライフ・バランス～仕事も家庭も一生懸命～」</p> <p>【内容】 講師に京都市がすすめる『真のワーク・ライフ・バランス』を实践され、かつメディアに多く登場し、親しみやすい存在である弁護士の菊地幸夫氏を迎え、自身の体験談をもとに、地域に主体的にかかわり、居場所をつくることの重要性、また地域の子どもたちの成長を見守ることの楽しさなどについて語っていただいた。また、最後には女性の活躍推進についても語られ、女性がより活躍するためにも、男性の地域や家事への参画が必要とまとめられた。</p>
4. 概要と成果
<p>本講演会は、男女共同参画を進める上で、当事者性が強い現役世代だけでなく、仕事からは退いた世代まで幅広い人々を対象とした。実際、幅広い年代層からの参加を得たが、集客は低かった。ウイングス京都の目的利用団体からの参加も多く、ウイングス京都の利用者に対し、通常の講座だけでなく、このような形で男女共同参画に触れていただいたことはとても良かったと思う。</p> <p>約9割の参加者から「満足」という評価が得られ、気軽にワーク・ライフ・バランスに触れる場としては申し分ない内容であっただけに、広報先や方法、また実施時期等について、不十分であった部分を再度検討し直したい。</p>

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援			条項	第3号
事業名	真のワーク・ライフ・バランス推進事業			事業企画課	
講座名	働く女性のネットワーク構築(★)				
目的	働く女性が雇用形態や職種、所属を越えてつながることで課題を解決する。また、その取組みを次代へ継承し、地域に根付いたシステムで働く女性の活躍を加速する。				
対象	働く女性				
事業費	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
	2,000	184	1,816		

事業の計画

1. 事業計画
20代から30代の働く女性が集まり、知識と技術を積み重ねた働く先輩と交流することで課題解決ができるシンポジウムを開催する。シンポジウム開催後に分科会やグループ発足を促し、京都市内における働く女性のネットワークを構築する。
2. 課題
多くの参加者確保のための魅力的な企画内容・継続的な人材交流の場の提供。働く女性たちの自主的なネットワークへの移行にむけた取り組み。
3. 実績 回数(1) 定員(30) 応募者数(31) 参加延数(24) 定員充足率(81 %)
11/21(金)15:00~17:30「社会を纏うファッション」 講師／山崎万里子((株)ユナイテッドアローズ執行役員) ※応募者は定員を越えたが、当日キャンセルもあり参加者は定員を下回った。
4. 概要と成果
女性の活躍推進の裾野を広げるために、WEF(ファッション業界における女性の活躍推進団体)の後援を得て事業を実施した。アパレル小売業のリーディングカンパニーにである会社において女性で初めて役員に就任された山崎氏を講師に迎え、著作「仕事の不安を一つひとつツブしていくやり方」を読み深めた。 働く女性が目標(夢)を持つことの本質的な意義は到達することではなく、ありがたい姿・行きたい場所を確認し、いま自分がいる地点との距離を知ることであり、ジェンダーを乗り越えた価値観が必然であることを共有した。また、可か不可かという二元論や他人との比較論から解放され、昨日よりも今日、去年よりも今年良くあるために、自分を追い越す自分をイメージして、自分の未来を幸せにする方法を具体的に話し合った。 講座終了後に、受講生同士で名刺交換する姿が見受けられ、本講座をきっかけとした交流が始まっている。

★20周年記念事業準備資金により実施

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援			条項	第3号
事業名	企業・地域への男女共同参画推進事業			事業企画課	
講座名	みんなで考える男女共同参画講座				
目的	男女共同参画についての基礎知識を学ぶ機会として、一般向け、企業向け、学校教職員向け、PTA等の団体を対象に、男女共同参画に関する基礎用語や事象の解説などを行う講座を実施する。				
対象	一般市民・企業・教職員・団体				
事業費	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
	1,420	676	744		

事業の計画

1. 事業計画
<p>【定期開催】 一般市民向け基礎講座(月1回、月ごとにテーマを設定し、ウイングス京都にて実施)</p> <p>【出前講座】 企業・教職員・団体向け基礎講座(希望に応じてテーマ・会場を選定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画基礎講座 ・男女平等教育推進について ・子育て世代の男女共同参画 ・DV(デートDV)を知る、考える ・セクシュアルハラスメント ・働くあなたのワーク・ライフ・バランス ・防災と男女共同参画
2. 課題
男女共同参画が自分にとって身近な問題であることへの理解を含めた啓発
3. 実績(別紙3)
<p>今年度は年間48回の講座を実施。1245人の参加があり、前年度(年間50回 929人)よりも、受講者数が増加した。その他、出前とは別に、24件の学習相談に応じた。</p> <p>※別紙3「平成26年度 みんなで考える男女共同参画講座 年間利用数」参照(58p.)</p>
4. 概要と成果
<p>男女共同参画に関する国内外の動きやデータを確認し、男女共同参画社会の実現に向けた学びの場を提供した。また、企業や団体、学校の教職員を対象にした出前講座を行った。今年度は、新たに「防災と男女共同参画」をテーマに加え、地域の防災訓練や研修の依頼があった。セクシュアルハラスメント、DVについては、保健師等の福祉関係者、学校からの依頼や学習相談が増加した。</p>

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3号		
事業名	企業・地域への男女共同参画推進事業	事業企画課			
講座名	女性の視点で見る防災				
目的	地域で暮らす女性たちが、防災・減災対策を確認し情報交換を行うことで災害に備え、安心して暮らせる講座を開催する。				
対象	女性の視点の防災に興味のある方・支援者・行政担当者等				
事業費	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
	460	68	392		

事業の計画

1. 事業計画					
<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の女性の困難と対策(震災時の事例を聞く) ・地域の防災・減災をジェンダーの視点で確認する ・家庭単位で防災・減災に備えるためのシート(H25年度作成)の活用及びブラッシュアップ 対 象: 町内会、女性消防団員、働く女性、PTA、保育士など					
2. 課題					
地域防災対策室、消防局、消防団、保育園連盟等、関連組織との連携(女性防災会議)取り組みを拡げるための協力体制・ネットワークづくり					
3. 実績					
回数(1) 定員(50) 応募者数(26) 参加延数(22) 定員充足率(44%) 公開講座					
回数(2) 定員(20) 応募者数(27) 参加延数(44) 定員充足率(110%) 連続講座					
回数(1) 定員(20) 応募者数(22) 参加延数(21) 定員充足率(105%) 防災食					
【日時】					
①9/14(日) 10:00~12:00 「防災に女性の視点を! 地域で考える防災セミナー」					
②9/14(日).15(月祝)10:00~16:30 「男女共同参画の視点から防災を考える人材養成研修」					
③10/12(日) 防災食づくり&トーク「パッキングを覚えていざというときに備えよう」 10:30~14:00					
【講師】 ①②講師:浅野幸子・池田恵子(減災と男女共同参画研修推進センター)ほか					
③木崎勝夫(パッキング京都 インストラクター)					
【内容】 全国女性会館協議会・減災と男女共同参画研修推進センターの「災害(復興)・防災と男女共同参画に関する人材養成研修事業」の助成を受け、防災の中でも特に行政や地域リーダーがこれからどのような視点を持って避難所計画に取り組むべきかなど、具体的に体感できる講座及び身近な「料理」をツールとして、防災を考えるきっかけづくりを行う講座を実施した。					
4. 概要と成果					
ジェンダー、マイノリティの視点から防災について具体的に考える座学とワークを多用した講座で、防災に関わる、または興味関心のある幅広い層の参加を得、満足度100%という高い評価を得た。					
連携では、今回は特に広報について、京都市行財政局防災危機管理室をはじめ、防災に関わる行政職員などの積極的な協力を受け、8月末の総合防災訓練の場での案内など多くの機会を得たが、組織的に継続的に連携し合うネットワーク構築までは至らず、次年度に課題を残した。					

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3号		
事業名	企業・地域への男女共同参画推進事業	事業企画課			
講座名	親子で楽しむコンサート				
目的	子育て世代をサポートすることで、地域における身近な男女共同参画を推進する。また、親と子どもたちが芸術に親しむことで、子どもの健全な育ちに貢献する。				
対象	乳幼児から小学生までの子どもとその親				
事業費	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
	475	434	41		

事業の計画

1. 事業計画
京都市立芸術大学と連携し、親子で楽しめる文化芸術体験事業を開催する。
2. 課題
男女共同参画の視点を盛り込み、他の親子コンサートとの差別化を図る
3. 実績 回数(1) 定員(240) 応募者数(240) 参加延数(226) 定員充足率(94%)
<p>日時:3/7(土) 14:00~16:00 演奏:京都市立芸術大学音楽部学部生 内容:乳幼児などの小さいお子さんとその親がともに楽しむことができるクラシックコンサートを実施した。</p> <p>【第1部】木管楽器とピアノ ピアノと管楽のための五重奏曲より/スタジオジブリ・コレクション~となりのトトロ / 風の丘 / アシタカせつ紀/ホルン協奏曲第1番より 第1楽章/クラリネットを壊しちゃった(編曲*稲谷祐亮)/インマークライナー/ピアノと管楽のための五重奏曲より 第1楽章</p> <p>【第2部】声楽アンサンブル 雪だるまつくろう/さんぽ/君をのせて/いのちの名前/ひとりぼっちの羊飼い/ドレミの歌/乾杯の歌 歌劇「椿姫」より/~みんなで踊ろう~ようかい体操第一</p> <p>【パネル展示】個性豊かに成長する絵本 パネル展示及びブックリスト配布 性別にとらわれず自分らしさを大切にしたい子育てを支援するために、ジェンダーの視点で選ばれた絵本のパネル展示をホワイエで行い、参加者へ絵本リストの配布を行った。</p> <p>【母子家庭支援の取り組み】 母子家庭支援施設への無料招待を行い、6名の参加があった。</p>
4. 概要と成果
<p>京都市立芸術大学キャリアセンターと連携し、芸大職員、学生との打合せを重ねて、大人も楽しめる内容に子どもが参加できるプログラム作りを行った。子ども向きの曲も、構成や編曲、演奏中のパフォーマンスに工夫をすることで大人も子どもも楽しめる内容となった。また、京都市立芸術大学美術学部によるコンペを協働で実施し、ポスター及びチラシを作成した。学生のみずみずしい感性を活かしたオリジナリティ溢れる広報を行うことができた。</p>

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援			条項	第3号
事業名	企業・地域への男女共同参画推進事業			事業企画課	
講座名	ミニシネマ&トーク				
目的	図書情報室で所蔵する上映権付き映像資料の上映と、男女共同参画に関するミニ講話を通じて男女共同参画の視点を育む				
対象	一般市民				
事業費	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
	315	113	202		

事業の計画

1. 事業計画					
上映に際し、男女共同参画の視点に気づくための講師からの投げかけや、上映後の参加者からの感想、講師の解説等により、男女共同参画をより身近に考える内容を実施する。					
2. 課題					
参加者がディスカッションを楽しめる場づくり。					
3. 実績					
回数(1)	定員(35)	応募者数(35)	参加延数(31)	定員充足率(89%)	ボルベール
回数(1)	定員(35)	応募者数(34)	参加延数(27)	定員充足率(77%)	チャーミングガール
回数(1)	定員(35)	応募者数(38)	参加延数(30)	定員充足率(100%)	潮風の村から～ある女性医師の軌跡～
回数(1)	定員(35)	応募者数(37)	参加延数(29)	定員充足率(83%)	ブッダ・マウンテン
【日時】 ①5/31(土) ②9/20(土) ③12/13(土) ④2/1(日) 各13:30～16:30					
【講師】 岸野令子(映画パブリシスト) ③のみ、山上千恵子(映画監督)・岸野令子(映画パブリシスト)					
【内容】 「男女共同参画社会」を身近に感じられる機会の提供を行う場として、図書情報室に所蔵するビデオ・DVDなどの映像資料を利用した上映会と講師によるジェンダーの視点からの作品解説、及び参加者によるディスカッションを組み合わせた講座を実施した。					
4. 概要と成果					
<p>常に定員を超える申込みがあり、(欠席者や映画だけ見て帰る人も一定数いたが)毎回好評であった。解説が加わることにより、より深く作品を読み解くことができたことも理由のひとつだろう。特に3回目の監督を呼んでのトークでは、監督が作品に込めたりプロダクティブヘルス/ライツの精神が強く伝わった。</p> <p>しかし、会場には「映画」が好きな人たちが集まるため、トークが盛り上がるものの話題がジェンダーとはかかわりの薄い映画評に移ることも多く、またシアターが平場になったことで、特に字幕が読みにくくなったことから、映画を見る会場としてあまり適さなくなったように思う。</p>					

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援			条項	第3号
事業名	企業・地域への男女共同参画推進事業			事業企画課	
講座名	DV予防講座				
目的	看護・医療職にある者を対象にDVに関する講座を実施し、DV被害を受けている人たちの支援につなげる。				
対象	看護・医療従事者				
事業費	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
	300	300	0		

事業の計画

1. 事業計画
看護・医療職にある者を対象に、DV、デートDV、子どもの虐待等について学べるプログラムを予定。
2. 課題
対象者が参加しやすい時期や場所を考えた講座設定。
3. 実績
回数(1) 定員(150) 応募者数(-) 参加延数(85) 定員充足率(43%) 6地区合同
回数(1) 定員(39) 応募者数(-) 参加延数(39) 定員充足率(100%) 太子道診療所
回数(1) 定員(12) 応募者数(-) 参加延数(12) 定員充足率(100%) 民医連中央病院
【日時】 ①10/4(土) 14:00~16:00 講演「医療現場から見えるDV」・「京都市におけるDV被害者支援の取り組みについて」ほか ②11/20(木)14:00~15:00 「DVにとりくむ～医療現場でできること」 ③12/17(水)14:00~15:00 「DVにとりくむ～医療現場でできること」 【講師】 ①浜垣 誠司(医療法人高木神経科医院院長)・北内祐美子(京都市文化市民局共同参画社会推進部男女共同参画推進課)②谷田寿美江(ウィメンズセンター大阪スタッフ 性暴力救援センター・大阪運営委員)③高見陽子(ウィメンズセンター大阪スタッフ 性暴力救援センター・大阪運営委員) 【内容】 DV被害当事者が訪れる窓口の一つとして、医療現場で働く人たちに、DVや性暴力に関する知識が不可欠であることから、京都府看護協会との連携により、主として看護職を対象としたDV予防啓発講座を実施した。
4. 概要と成果
今年度より始まった、対象(依頼)団体の希望に応じて、講師や内容をカスタマイズして実施するDV予防講座。当初講演会1回の予定だったが、実施後に病院単位での依頼があったため、2回追加で実施した。 対象のニーズに合わせた講師の選定を行ったためたいへん好評であったが、特に病院単位で実施した2回については、1時間ではどちらも収まらず、講師、依頼者に向けて調整をはかりつつ次年度も対象を広げながら続けたい。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援			条項	第3号
事業名	企業・地域への男女共同参画推進事業			事業企画課	
講座名	女性の活躍推進シンポジウム				
目的	女性のライフステージに対応した活躍支援や、男女が共に仕事と子育て・生活を両立できる環境整備等の必要性をシンポジウムを通して啓発する。				
対象	一般市民				
事業費	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
	1,000	1,000	0		

事業の計画

1. 事業計画
女性の活躍推進に関する基調講演からはじまり、講演者その他の有識者数名でパネルディスカッションを行う。
2. 課題
女性の活躍推進を妨げる諸課題を精査し、パネリストにはその課題における有識者を人選する。
3. 実績 回数(1) 定員(240) 応募者数(※178) 参加延数(※中止) 定員充足率(— %)
10月13日(土)に実施予定であったが、当日大型台風が直撃し、JRなど一部の公共交通機関が運転見送りを事前発表したことを受け、当日朝にシンポジウム中止を決定。
4. 概要と成果
『女性の活躍推進』をテーマに、第一線で活躍する方々や京都の企業代表者をパネリストに迎え、シンポジウムを企画。 第1部・基調講演では、岩田 喜美枝(公益財団法人21世紀職業財団会長)を講師に「女性はもっと活躍できる！～社会をより元気に、人生をより豊かに～」を、第2部・パネルディスカッションでは「女性のキャリアアップのために<組織>がすべきこと、<わたし>にできること」を演題とし、岩田氏のほかパネリストの渥美 由喜(内閣府少子化危機突破タスクフォース政策推進チームリーダー)、越膳 泉(オムロン株式会社執行役員 グローバルリソースマネジメント本部長)、麓 幸子(日経BPヒット総合研究所所長・執行役員/元・日経ウーマン編集長・発行人)を予定していた。 178名の受講予定者からは、中止への落胆のお声や延期に対する強い要望の声が寄せられ、今回のシンポジウムに対する期待や社会的ニーズの大きさを実感することとなった。 残念ながら成功裏に終えることはできなかったが、オムロンを始め、京都府下でダイバーシティを目指す企業の人事担当者などで構成される集合体「チーム・スプリング」との関係強化に取り組むことができた。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援			条項	第3号
事業名	企業・地域への男女共同参画推進事業			事業企画課	
講座名	女性活躍加速化事業				
目的	大学と連携し女子学生へのキャリアデザインセミナーを実施し、活躍する女性・企業の見える化につなげる。				
対象	京都市内の大学に通う女子学生				
事業費	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
	0	0	0		

※事業費は京都府が負担

事業の計画

1. 事業計画
<p>女性のキャリア継続および女子学生の就職事情に精通する有識者を講師に招き、女子学生自身が主体的に将来のライフデザイン・キャリアデザインを描くセミナーを実施。大学との連携を図り、大学側のニーズを汲み取るとともにより効果的な事業を展開する。</p>
2. 課題
<p>学生の参加者確保と男女共同参画の視点の落とし込み。大学との連携。</p>
<p>3. 実績 回数(1) 定員(30) 応募者数(24) 参加延数(23) 定員充足率(77%) <small>※大学生を中心に、大学院生、専門学校生、高校生から定員を上回る応募があり、拡大して受け入れた。</small></p> <p>平成26年10月26日(日) 13時30分～16時30分 京都女性活躍加速化事業『私が“輝き続ける”ためのGirl's Talk』</p> <p>①イントロダクション ②ミニ講義「“しあわせ”に働くための自分づくり」 ③竹信先生×女子学生×大学教職員によるミニ座談会 「大学を越えて語り合う～女子学生の“就活”と“キャリア形成”～」 ④ワールドカフェ「“しあわせ”に働くために」</p>
4. 概要と成果
<p>京都府および京都市による主催事業、「京都女性活躍加速化事業」の一環として実施。 女性の就労問題に精通し、また和光大学の教授として学生のキャリア支援に取り組む竹信三恵子氏を講師に迎え、ミニ講義などを実施。また本事業は佛教大学および京都工芸繊維大学の協力を受け、進路就職責任者、男女共同参画センター長、就職活動を経験した学生にミニ座談会のパネリストとし、各立場から観た女子学生の就職事情ならびに女性のキャリア形成についての考えを提示し、竹信氏がそれぞれにコメントを述べた。 そしてまた、ワールドカフェではミニ座談会の登壇者がグループリーダーも務め、参加学生が感じている就職や将来への不安を共有し、その課題解決に向けて自身が取り組むべきことをそれぞれが考える機会となった。 有識者による講義と的確な助言をもって男女共同参画の重要性を説き、さらには大学との連携を図れたことは、今後の青少年対象事業の基盤となり得る。</p>

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援			条項	第3号
事業名	教養・健康増進事業			事業企画課	
講座名	運動実技講座				
目的	生涯にわたる健康と生きがいを維持できるよう市民ニーズに応えたさまざまなプログラムで、幅広い年代を対象としたフィットネスなどの講座を開催する。				
対象	一般市民				
事業費	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
	11,720	11,721	△ 1		

※「運動実技講座」「うた講座」「その他 講座」を合わせた事業費

事業の計画

1. 事業計画
<p>フィットネス講座(10コース×3期=30コース)</p> <p>楽しいフラダンス／いきいきフラダンス／バランス・ヨガ／リズムウォーク&ボールエクササイズ／パワーヨガ／気功／骨盤ヨガ／ゆったりヨガ／ピラティス夜 Reset／ピラティス朝 Flow</p> <p>笑いヨガ(単発)</p>
2. 課題
<p>価格的に民間と競合する中、顧客ニーズに沿った満足度の高い講座を実施すること</p>
3. 実績
<p>フィットネス講座(10コース×3期=30コース)</p> <p>楽しいフラダンス／いきいきフラダンス／バランス・ヨガ／リズムウォーク&ボールエクササイズ／パワーヨガ／気功／骨盤ヨガ／ゆったりヨガ／ピラティス夜 Reset／ピラティス朝 Flow</p> <p>笑いヨガ(単発×2回、連続講座×2期)</p> <p>別紙4-1「運動実技講座」参照(59p.)</p>
4. 概要と成果
<p>前年に引き続き10コースの運動講座を定期的実施した。それぞれの運動の特徴の違いを活かし、多様な市民のニーズに応えることが出来ている。年間で継続する受講生が大半で、アンケートには、受講を続けることで心身の健康増進に役立っているといった回答が多く寄せられている。受講者数が定員に満たない講座はビジター参加も受け付けている。次期の受講につながることもあり、柔軟な受講者の受け入れができていけると言える。</p> <p>※「笑いヨガ」については、体験会を2回、秋期・冬期に連続講座を開催したが、継続希望者が少なく、次年度の開催は見送った。</p>

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援			条項	第3号
事業名	教養・健康増進事業			事業企画課	
講座名	うた講座				
目的	生涯にわたる健康と生きがいを維持できるよう市民ニーズに応えたさまざまなプログラムで幅広い年代を対象とした健康増進事業として、うた講座を開催する。				
対象	一般市民				
事業費	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
	11,720	11,721	△ 1		

※「運動実技講座」「うた講座」「その他 講座」を合わせた事業費

事業の計画

1. 事業計画
うた講座(4コース×3期=12コース) 楽しいコーラス／シネマ&ミュージカルソング／楽しいゴスペル&ポップス／ 心やわらぐ愛唱歌をうたう講座 歌声喫茶(年12回・拡大版(内4回)の実施を含む)
2. 課題
価格的に民間と競合する中、顧客ニーズに適う満足度の高い講座を実施すること。 新規(H25年度より開始)講座の定着。受講者間の交流促進。 歌声喫茶:定員と申込者数の不均衡。拡大版の効果的な運営方法の確立と広報
3. 実績
うた講座(4コース×3期=12コース) 楽しいコーラス／シネマ&ミュージカルソング／楽しいゴスペル&ポップス／ 心やわらぐ愛唱歌をうたう講座 歌声喫茶(年12回・拡大版(内4回)の実施を含む。またフォーク&ポップス版を試行) 別紙4-2「歌講座」参照(62p.)
4. 概要と成果
定員充足率のばらつきはあるものの、平成25年度から開始した「楽しいコーラス」の受講者数は安定し、比例して受講者の満足度も高い。受講者数の低迷する講座については、次年度に向け、よりニーズに適った講座を提供できるよう内容の見直しを積極的に行っている。 また、11月のパープルフェスタのステージ発表には4講座ともから出演があり、交流促進につながった。 歌声喫茶は毎回定員を超える申込みがあり、参加者の満足度も高い事業を実施できている。拡大版を定期的に開催し、新たにフォーク&ポップス版を試行するなど、定員とニーズの不均衡の解消に努めている。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援			条項	第3号
事業名	教養・健康増進事業			事業企画課	
講座名	その他 教養講座				
目的	生涯に渡る健康と生きがいを維持できるよう啓発の機会を設け、市民のニーズに応えたさまざまな講座を開催する。				
対象	一般市民				
事業費	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
	11,720	11,721	△ 1		

※「運動実技講座」「うた講座」「その他 講座」を合わせた予算額

事業の計画

1. 事業計画
<ul style="list-style-type: none"> ・朗読講座(1クラス×2期) ・朗読ライブ(平成26年度試行・年1回以上)
2. 課題
<ul style="list-style-type: none"> ・朗読講座 講座内容刷新と新規受講者確保。旧講座長期継続受講者の自主グループ化と他事業と関連した活動の場の提供 ・朗読ライブ 出演者・協力者と受講者の確保。
3. 実績
別紙4-3「朗読講座」参照(64p.)
4. 概要と成果
<p>【朗読講座】 今年度より内容・講師を一新し、年間を通して受講する講座として実施した。×切の設定が他のカルチャーセンターより遅かったこともあり、昨年度までの受講者の参加が当初予測より少なかった。途中からの参加を望みにくく、ビジターも入れにくい講座であることから、募集の時期と方法について検討が必要である。</p> <p>【朗読ライブ】 朗読講座講師を中心としたグループによる歌と語りのライブを新規事業として年度内に2回実施した。初回よりたいへん質が高い内容で、キャンセル待ちが多数出るほどの人気事業となっており、今後も出演者と協力体制を取りながら実施を続けていきたい。</p>

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援			条項	第3号
事業名	保育事業			事業企画課	
講座名	事業参加者の保育・施設利用者の保育・親子のふれあい広場				
目的	講座保育・一時保育と親子同士がふれあう事業をNPOとの協働で行い、子育て中でも安心して学習や研修に参加、あるいは相談室利用ができる環境を提供する。				
対象	未就学児を有する施設利用者				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	1,800	1,387	413		

事業の計画

1. 事業計画
<ul style="list-style-type: none"> ・事業参加者の保育／施設利用者の保育 6か月以上就学前までの保育を、保育グループマザーグースに委託して行う。 ・親子のふれあい広場 親子で参加するふれあい広場を、マザーグースに委託して行う。また、他の子育てに関連するグループとも連携していく。
2. 課題
<ul style="list-style-type: none"> ・保育利用者(保育料収入)の減少 ・DV被害者の状況等、男女共同参画社会への理解
3. 実績 別紙5「保育事業」参照(65p.)
<p>4月度から7月度にかけて集客は苦戦し各回の平均参加は3組であったが、広報活動を全面的に見直したことによって8月度以降は平均13組と持ち直した。</p> <p>講座保育などは、自主講座における子育て世代の受講者減と比例するように保育利用者も減少傾向にある。しかし、8月の浸水被害の影響により相談保育をのぞく保育を一時中止したものの、館内利用者の保育が継続的に入り前年を上回るなど回復傾向にある。</p>
4. 概要と成果
<p>ふれあい広場のプログラム内容は例年どおりであるが、上記のとおり広報活動の改善によって8月度以降は定員を大きく上回る応募が年度内続いた。</p> <p>具体的な広報活動の改善策として、広報開始日を前倒しするとともに翌月の開催内容も記載した。またこれまでセンター内でチラシを配架するのみであったが、図書館や子育て支援施設などの京都市関連施設、そしてGoGo土曜塾でも広報を展開。さらには、各回参加者には次回催しの案内を行ったうえで事前予約のシステムも導入した(※参加者が定着したことから、27年度より廃止する)。</p> <p>さらにはふれあい広場に父子ペアが参加したり、Papaカレッジ受講者など男性の保育利用が見られるようになった。</p> <p>昨冬より次年度のプログラムも大きく見直し、マザーグースのほか、地域で活動する外部講師やボランティア団体と連携したプログラムを企画した。</p>

公益2	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する相談	条項	第4号		
事業名	相談業務	事業企画課			
講座名	①一般相談 ②専門相談				
目的	男女共同参画に関わる市民の多様な相談ニーズに対応し、相談者自身が悩みの背景を認識し、自己を肯定して問題解決を図っていけるようサポートする。				
対象	①女性 ②暴力に悩む女性、法律相談を必要とする女性、男性				
事業費	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
	10,613	10,000	613		

事業の計画

1. 事業計画																								
<ul style="list-style-type: none"> ・一般相談(女性のみ)／電話・面接 ・専門相談(女性への暴力相談・法律相談・男性のための相談) ・DVに悩む男性のための電話相談 																								
2. 課題																								
<ul style="list-style-type: none"> ・取りきれない相談電話について、体制の検討・強化 ・ジェンダーの視点に敏感な相談員の育成 ・DVに悩む男性のための電話相談の体制の検討 																								
3. 実績																								
<p>①一般相談(電話・面接)</p> <p>②専門相談(女性への暴力相談・法律相談・男性のための相談・男性のためのDV電話相談)</p> <p>③相談室利用者アンケート 別紙6「平成26年度相談室ご利用アンケート」参照(66p.)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>26年度(件数)</th> <th>25年度(件数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般電話</td> <td>511</td> <td>578</td> </tr> <tr> <td>一般面接</td> <td>1,218</td> <td>1,305</td> </tr> <tr> <td>男性のためのDV電話相談</td> <td>28</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>法律相談</td> <td>52</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>男性のための相談</td> <td>103</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>女性への暴力相談</td> <td>207</td> <td>225</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,119</td> <td>2,304</td> </tr> </tbody> </table>		26年度(件数)	25年度(件数)	一般電話	511	578	一般面接	1,218	1,305	男性のためのDV電話相談	28	26	法律相談	52	59	男性のための相談	103	111	女性への暴力相談	207	225	合計	2,119	2,304
	26年度(件数)	25年度(件数)																						
一般電話	511	578																						
一般面接	1,218	1,305																						
男性のためのDV電話相談	28	26																						
法律相談	52	59																						
男性のための相談	103	111																						
女性への暴力相談	207	225																						
合計	2,119	2,304																						
4. 概要と成果																								
<p>26年度の総相談件数は2,119件と前年度(2,304件)に比べ8%減少した。25年度末の退職者2名の補充をしたものの、年度途中で電話を専門に受ける相談員が1名減となり、人員不足が相談件数に反映した。その中でも年間10回のグループスーパービジョンの実施を行い、ジェンダーの視点に敏感な相談員の育成に力を注いだ。また男性相談(面接・DV電話相談)と女性への暴力相談のカウンセラーも交えた専門相談連絡会議において、男性のDV問題について情報の共有や意見の交換を行った。2年目となる「男性のためのDV電話相談」は若干増で推移している。相談すること自体ハードルの高い男性にとって、顔の見えない電話での相談は利用しやすい手段であると考えられる。</p> <p>最近の傾向として、DV被害者の子どもへの影響が表面化してきたこと、お互いに問題を抱えた母娘二人で相談室を訪れるケースが増えていることなどが挙げられる。</p>																								

公益2	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する相談	条項	第4号		
事業名	相談事業	事業企画課			
講座名	DV被害当事者のための自立支援講座				
目的	DV被害当事者が、人が本来持つべき自尊感情をとりもどし、自分を大切に思うことなどを専門家の助言を得ながら、当事者同士で語り合い、互いに受容しあうことを通して、心身の回復を促す。				
対象	DV被害を受けた経験がある女性・加害者と別居中の方。				
事業費	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
	270	206	64		

事業の計画

1. 事業計画
年2回実施。(4回の講義と1回のボディーワークを取り入れ、全5回の講座とする) アフター会につなぎ、最終的に自主グループ化を目指す。
2. 課題
講師・スタッフ・参加者間での信頼関係の構築。 自主グループ化までの支援。
3. 実績 回数(5) 定員(15) 応募者数(15) 参加延数(65) 定員充足率(87%)
DV被害者自立支援講座『私が私でいるために』 全5回 【講師】周藤 由美子(ウィメンズカウンセリング京都)／栗岡 多恵子(Brisa) 【日時】11/14～12/12(金・朝)／3回目のみ土・昼 【テーマ】①DVを生きのびた私たち ②こころや体の声に耳をすませよう ③ボディーワークからだの声を聴こう ④自分を大切にするには ⑤人とつながりながら回復する
4. 概要と成果
4回の講義と語り合い、1回のボディーワークを取り入れ、DVについての理解や自分の心や体に向き合う作業を通し、DV被害者である参加者が、同様の悩みを持つ者は自分一人ではないことに気付き、自尊感情を取り戻していった。今回は参加人数が定員に近く、開始当初は全体で一つのグループにまとまると言うよりは、年代や経験の近いもの同士の繋がりが構築される傾向にあった。全5回の日程を通し、講師やスタッフとも信頼関係を築きながら、終了後は全体がまとまり、アフター会の実施につながった。

公益2	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する相談	条項	第4号		
事業名	相談事業	事業企画課			
講座名	グループ相談会				
目的	参加者同士が同じ悩みを共有し、専門家のアドバイスやグループで話し合うことでエンパワーメント(個人が自分自身の力で問題や課題を解決していくこと)することを目的とする。				
対象	介護にまつわる悩みをもつ女性				
事業費	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
	250	119	131		

事業の計画

1. 事業計画
相談事業から見えてくるニーズを元にテーマを設定し、年1回実施する。
2. 課題
<ul style="list-style-type: none"> ・グループ相談会に適したニーズの汲み上げ。および適任講師の選定。 ・テーマに沿った対象者に届く効果のある広報。 ・テーマに沿った実施形態の多様化の検討
3. 実績 回数(3) 定員(15) 応募者数(6) 参加延数(18) 定員充足率(40 %)
<p>グループ相談会『家族の介護は誰がやるの?』 全3回</p> <p>【講師】ファシリテーター:高木はるみ(公益社団法人京都府介護支援専門員会理事) アドバイザー:中野冬美(女性のための街かど相談室ここ・からサロン共同代表)</p> <p>【日時】2/21~3/7(土・朝)</p> <p>【テーマ】①介護について語り合おう②共有し、見つめる、気付く③自分の中に力を養う</p>
4. 概要と成果
<p>全3回のグループ相談会を通じて、「なぜ、私が介護をするのか」「自分は優しくないのではないか」「将来、夫と二人きりで私の介護はどうなるのか」等、それぞれが様々な抱える悩みを語りあうことで、介護に悩むのは自分一人ではないことを実感し共有し、また思いを文字にして言葉化することで、問題点を整理した。それぞれの悩みの背景には、ジェンダーや、性別役割分担意識による思い込みがあることに、専門家のアドバイスを受けながら気付いていった。最後には、今ある視点を変えること、一人で抱え込まないでいいこと、あるいは夫など周辺の男性に働きかけていくことなど、各自が自分の力で問題解決に向かうためのヒントを得ていただいた。6名という少人数の講座となったが、現在介護中以外の該当者に情報を届けることに苦戦したこと、介護の当事者が3回連続の講座に出ることはハードルが高かったことなどが要因と考えられる。また、テーマに沿った、ジェンダーの視点を持ち且つ介護のアドバイスのできる講師探しに難航したため、形態をファシリテーターとアドバイザーという2人の講師とし、実施した。結果的には専門性の異なる講師2名体制で満足度は上がったが、テーマに適した広報や実施スタイルの工夫などは今後とも課題である。</p>

公益2	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する相談	条項	第4号		
事業名	相談事業	事業企画課			
講座名	大学相談室派遣事業				
目的	大学内の相談室に相談員を派遣し、相談者の問題解決を支援することを目的とする。				
対象	佛教大学においてハラスメント相談に来所する学生・教職員				
事業費	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
	960	960	0		

事業の計画

1. 事業計画
週1回、佛教大学人権教育センターにて学生や教職員対象に、ハラスメントに関する相談を受ける。
2. 課題
男女共同参画の視点での問題解決の落とし込み。
3. 実績
佛教大学においてハラスメント相談に来所する学生・教職員の相談に対応した。(なお、内容や件数は開示されない。)
4. 概要と成果
佛教大学においてハラスメント相談に来所する学生・教職員の相談に対応した成果を評価され、次年度も同等の条件で相談員を派遣する。ハラスメント相談において、男女共同参画の視点での問題解決を実現するためにも、佛教大学との連携は今後とも重要である。

公益2	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する相談			条項	第4号
事業名	関連機関連携/京都市男女共同参画苦情・要望等 処理制度の受付			事業企画課	
講座名	関連機関連携/京都市男女共同参画苦情・要望等処理制度の受付				
目的	DVをはじめとする相談に関わる機関の相談員が研修、事例研究、情報交換等を行う事により、相談員の資質の向上と各機関の連携を図ることを目的とする。 京都市男女共同参画苦情・要望等処理制度の受付を行う。				
対象					
事業費	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
	270	45	225		

事業の計画

1. 事業計画
<ul style="list-style-type: none"> ・関連機関連携 女性のための相談ネットワーク会議(年2回) 配偶者からの暴力に関するネットワーク京都会議 京都犯罪被害者支援連絡協議会 性犯罪被害者対策研究分科会 ・京都市男女共同参画苦情・要望等処理制度の受付
2. 課題
各機関同士の連携強化
3. 実績
別紙7「関連機関連携/苦情・要望等処理制度の受付」参照(68p.)
4. 概要と成果
別紙7「関連機関連携/苦情・要望等処理制度の受付」参照(68p.)

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進	条項	第5号		
事業名	地域コミュニティ活性化の促進事業	事業企画課			
講座名	ウイングスフォーラム				
目的	男女共同参画社会の形成に向けて、市民の意識向上を図り、学習を行う。				
対象					
事業費	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
	1,000	912	88		

事業の計画

1. 事業計画
12月(全1回)イベントホールにて実施
2. 課題
男女共同参画の視点をもった演者やパネラーの選定 タイムリーなテーマの設定
3. 実績 回数(1) 定員(230) 応募者数(438) 参加延数(240) 定員充足率(104%)
ウイングスフォーラム2014「京(今日)からはじめる真のワーク・ライフ・バランス～「自分らしさ」を大切に仕事も家庭も楽しもう～」 【日時】12/6(土)13:30～16:00 ◆ 京都市「真のワーク・ライフ・バランス」推進企業表彰式 ◆ 京都市「真のワーク・ライフ・バランス」実践エピソード表彰式 ◆ 講演「室井流 自分らしいワーク・ライフ・バランス」 講演者:室井 佑月 氏(作家)
4. 概要と成果
毎年、男女が共に個性と能力を発揮し、いきいきと活躍できる社会の実現を目指し学習、相互交流を行う場として開催しており、京都市男女共同参画市民会議運営懇談会・京都市の主催事業として著名人を講師に迎えて実施している。 定員230名に対して438名の応募があり、座席を280席に増やしたが、当日は240名の参加となった。 市民への啓発事業として実施している事業なので、今後も男女共同参画に関してわかりやすく話すことができ、かつ集客力のある講師を選定していくことが課題である。

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動支援及び相互交流の促進			条項	第5号
事業名	地域コミュニティ活性化の促進事業			事業企画課	
講座名	映像フェスティバル(★)				
目的	性別の枠にとらわれず新しい視点で描かれている映像作品を通して、多様な生き方や価値観について考える場を提供する。				
対象					
事業費	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
	2,000	1,305	695		

事業の計画

1. 事業計画
映画・ドキュメンタリー作品の上映を実施 監督を招いてのトークを検討
2. 課題
関係機関との連携。
3. 実績 回数(1) 定員(720) 応募者数(419) 参加延数(323) 定員充足率(45 %)
『ウイングス京都映画祭 枠を超えて』 私たちを取り巻く様々な「枠」を超えることがテーマとして描かれた作品の上映と、トークイベントを実施した。 【日 時】平成26年11月15日(土)・16日(日) ① 『スタンリーのお弁当箱』上映(アモール・グブテ監督/96分/インド) * 上映後、サモサ&チャイのサービスとオーナーシェフによるトークを実施 ② 『少女は自転車にのって』上映(ハイファ・アル・マンスール監督/97分/サウジアラビア, ドイツ) * 途上国の女の子を支援する「チャリティーピンキーリング」配布 ③ 『わたしはロランス』上映(グザヴィエ・ドラン監督/168分/カナダ, フランス) ゲスト・トーク: 渡辺 真起子(女優)×坂本 安美(アンスティチュ・フランセ東京映画プログラムディレクター) / 司会: 松井 宏(映画批評家) 【関連事業】 Facebook「いいね! 男性が作った子どものためのお弁当」を実施(賞品は全国女性会館協議会経由でゴールドマン・サックスから提供) 【協力・連携】協力: 京都みなみ会館 / 連携: 京都まちなかを歩く日
4. 概要と成果
京都みなみ会館と協力し、「枠を超えて」というテーマを軸に、年齢、性別、国、文化等が異なる主人公たちが、社会における価値観や慣習・因習に捉われずに、「こうありたい」という思いを貫き、夢と希望をかなえようとする姿が描かれた作品とゲストを選出した。上映後に実施した、サモサ&チャイのサービスでのミニトーク、ゲストトークでは、緩やかに交流がすすみ、作品に描かれた自分と他者との違いを多様性として受容し、それぞれが自由になれる社会のあり方について考える場となった。会場では、多くの方がスタッフに喜びのお声をかけてくださり、とても満足されている様子であった。外部との連携については、協力関係を通して互いの強み・弱みを確認することができ、よりスムーズな連携のかたちについて理解し合うことができた。

★20周年記念事業準備資金により実施

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進			条項	第5号
事業名	地域コミュニティ活性化の促進事業			事業企画課	
講座名	センター利用者や地域との協働事業				
目的	地域団体等と連携し、地元との関わりを深める。				
対象					
事業費	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
	80	0	80		

事業の計画

1. 事業計画
<ul style="list-style-type: none"> ・歩いて暮らせる街づくり推進会議と連携し、まちなかを歩く日(11月中旬の土日)にあわせて実施する。 ・センター利用者によるロビーでの常設展示
2. 課題
団体との継続的な連携。男女共同参画推進の視点を持った運営
3. 実績
<ul style="list-style-type: none"> ◆まちなか … 20周年記念事業として、2日間に渡り3本の映画祭を開催(参加者計323名)。 ◆ロビー常設展示(担当:山本)…展示団体数 のべ15団体
4. 概要と成果
<ul style="list-style-type: none"> ◆まちなか … 歩いて暮らせる街づくり推進会議が今年度新しく導入するチケット制およびパスポート制に賛同し、当事業でも適用可とした。また同協会の広報において、映画祭の情報掲載や各ブースでのチラシ配架などの協力を得ることができた。 ◆ロビー常設展示… 文化サークルや教室等のセンター利用者の作品を展示するスペースを1階ロビーに設置し、活動報告・交流の場として提供した。 ロビーのにぎわいを演出するとともに、センター利用者の活動の紹介の場となった。

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進	条項	第5号		
事業名	地域コミュニティ活性化の促進事業	事業企画課			
講座名	人権・男女共同参画研修(中京ふれあい人権講座)				
目的	企業・学校からの依頼を受け、人権や男女共同参画に関わる企画提案や事業の実施、講師派遣等を行う。				
対象	中京区に在住・在勤・在学の親子(子どもは小学生対象)				
事業費	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
	570	570	0		

事業の計画

1. 事業計画
企業・学校からの依頼を受け、人権や男女共同参画に関わる企画提案や事業の実施、講師派遣等を行う。
2. 課題
団体との役割分担を含めたお互いにとって効率的な協働のあり方。
3. 実績 回数(1) 定員(200) 応募者数(209) 参加延数(142) 定員充足率(71 %)
8月30日(土)14:00~15:30 中京ふれあい人権コンサート「音楽に込められたメッセージ」 講師／アンサンブルサビーナ 中京区基本計画に掲げる「響きあう 人・まち・文化 中京区」の実現を目指して、子どもと親世代を対象とした人権コンサートを実施した。
4. 概要と成果
当日キャンセルが多く、定員を下回った点が残念であった。管弦楽アンサンブルによる本格的な演奏で、クラシック音楽から童謡まで幅広い曲を楽しんで頂いた。楽曲に込められた想いや願いをやさしく解説して頂くことで、子どもたちの心を健やかに育てることを目指したが、解説が若干難しかったという意見も多かった。今後は主催者の意向を踏まえつつ、講師決定に積極的に関わっていきたい。

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進			条項	第5号
事業名	地域コミュニティ活性化の促進事業			事業企画課	
講座名	ピンクリボン活動啓発事業				
目的	性と生殖に関する知識を深め、心と体の健康保持の大切さに気付くため、ピンクリボン月間である10月に、乳がん検診の大切さをうたえる啓発事業を行う。				
対象					
事業費	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
	90	1	89		

事業の計画

1. 事業計画
ピンクリボン京都実行委員会と連携し、啓発リーフレット配布、京都市内各所での啓発キャンペーンを実施する(8~10月)
2. 課題
女性の性と生殖の権利に敏感な視点を盛り込む
3. 実績
<p>●ピンクリボン京都 市民公開講座「女性としていきいき過ごすために大切なこと」(共催) 日時:9月27日 土曜日 13:30~16:00 会場:ウイングス京都 イベントホール 【主催】ピンクリボン京都実行委員会</p> <p>●Think! Pink Ribbon ウイングス京都ピンクリボン月間2014 期間: 9月26日(金)~10月30日(木) 内容: 早期検診・早期発見の重要性を伝える啓発リーフレット配布 Webでの情報提供、ピンクリボン・ツリー設置、メッセージキルト展示(協力:クリブキルト)、ロビー展示(協力:「もっと知りたいワタシのからだ全国キャラバンin京都」 ウィメンズセンター大阪、大塚製薬)</p> <p>●ピンクリボンキルト・ワークショップ 日時:10月19日(日)10:30~12:30(クリブキルト代表 若山 雅子)</p>
4. 概要と成果
ひとりでも多くの方に、乳がん検診の大切さを知っていただくため、医療機関、行政、企業、NPOなど、多数の地域市民・団体等が参加したピンクリボン京都実行委員会と連携し、市内でのキャンペーンや、ウイングス京都館内での啓発活動を実施した。市民公開講座はウイングス京都が会場となった。また、「もっと知りたいワタシのからだ全国キャラバンin京都」と協力してロビー展示を行い、同日にキルト作家若山雅子さんとの協働でグッズ作りをしながら女性の健康について語り合うイベントを実施するなど、新たな連携もあった。

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進	条項	第5号		
事業名	ドメスティック・バイオレンス対策事業	事業企画課			
講座名	DV・性暴力被害者支援講座				
目的	DVや性暴力を身近に起こる社会問題(ジェンダーの問題)として理解し、被害者支援や防止のための啓発を行うサポート体制を図る				
対象	①警察・検察・司法・医療・相談関係者 ②学生・教育関係者				
事業費	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
	275	206	69		

事業の計画

1. 事業計画
性暴力撲滅のために、写真展や講演会などで啓発事業を展開する。 また、被害者支援に繋がる人材育成として、性暴力・DV基礎知識やスキルを得るとともに、受講生が問題意識を持ってグループ化し啓発や被害者支援の活動に結び付ける。
2. 課題
被害者支援を今後活動の場となる機関との連携
3. 実績 回数(2) 定員(50) 応募者数(100) 参加延数(100) 定員充足率(100 %)
①警察・検察・司法・医療・相談関係者 79名 ②学生・教育関係者 21名
4. 概要と成果
【日時】 6/28(金)13:30~16:00、6/29(土)10:00~12:00 【講師】 大藪順子(性暴力サバイバー、フォトジャーナリスト) 性暴力被害者の支援機関のネットワーク強化を目的とした勉強会を対象別に実施した。性暴力サバイバー(被害を乗り越えた人)の声は、その過酷な被害を乗り越えた人しか持ちえないメッセージがあり、警察・司法・医療関係者が「支援者中心支援」を「被害者フォーカス」にシフトすることの重要性とその効果を共有できた。特に、ワンストップセンターの設立を前提で支援の発展を考えるのではなく、今、各支援者がそれぞれの役割分担を見直し、被害者を新たな支援者に安全に繋げるために支援者のネットワークを広げることが重要であることを共有した結果、参加者からは被害者に寄り添う支援を自分から広めたいという声を多く頂いた。また、性暴力被害の声が警察に届かない実情からは、ジェンダーの視点を持ち、地域に根差した相談業務が大切な役割を担っていることを再認識する機会となった。

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進	条項	第5号		
事業名	ドメスティック・バイオレンス対策事業	事業企画課			
講座名	インストラクター活用事業				
目的	DV被害者とその子どもへの心理教育プログラム「びーらぶ」の実施及び、実施するインストラクターの能力向上をめざす。				
対象	びーらぶインストラクターとこれまでのDV被害者支援事業受講者				
事業費	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
	950	950	0		

事業の計画

1. 事業計画
平成23・24年度に養成したびーらぶインストラクターを対象に、実際にDV被害当事者とその子どもたちに対する講座(びーらぶプログラム)の実施を前提に、支援者たちの支援を行う。また、これまでのDV被害者支援事業受講者が、DVシンポジウムや啓発へ参加できる仕組みを整える。
2. 課題
びーらぶ京都(有資格者グループ)とウイングス京都との連携、グループ支援
3. 実績
<p>1. びーらぶインストラクター活用事業</p> <p>① びーらぶプログラム(ショート4回)の実施 実施日:12/20(土)インテーク 12/20 1/10.24 2/7(各土) 全5回 参加5組</p> <p>② びーらぶプログラムの普及活動の実施 児童相談所職員へのびーらぶプログラムについての研修実施(8/28)等 7回</p> <p>③ スーパービジョンの実施</p> <p>④ 公開講座の実施 実施日:9月6日(土)14:00~16:00 参加26名</p> <p>2. DV被害者サポーター活用事業</p> <p>①啓発グッズの作成 サポーターとともに啓発用の「しおり」を作成</p> <p>②登録サポーターによる啓発活動への参加</p>
4. 概要と成果
<p>昨年度に引き続き、平成23・24年度に実施した「びーらぶインストラクター養成講座」より生まれた「びーらぶインストラクター」の有資格者、および「DV被害者サポーター養成講座」等を受講し、支援者としての基礎的な、また実践的な知識を持つ市民のちからを活用し、幅広いDV被害者支援を行った。</p> <p>「びーらぶプログラム」では、ショート(4回版)を実施した。定員8組に対し、5組10名の母子の参加があり、継続した参加の中で学びを深めることができた。</p> <p>びーらぶインストラクターに対しては、より質の高いプログラムを提供できるよう、また支援者グループとして自立化をめざすべく、フォローアップを今後も続けていきたい。</p>

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進	条項	第5号		
事業名	ドメスティック・バイオレンス対策事業	事業企画課			
講座名	DV被害者当事者のための居場所づくり事業				
目的	DV被害者が気軽に立ち寄ることのできる居場所づくりを行うことにより、孤立しがちな被害者の回復過程における心理的サポートを行う。				
対象	DV被害者				
事業費	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
	160	75	85		

事業の計画

1. 事業計画
<p>年4回程度 実施</p> <p>DV被害者が気軽に立ち寄れる居場所として、定期的な集いの場を設置し、専門家の同席のもと、ゆるやか且つ横断的な参加者のネットワークを構築する</p>
2. 課題
<p>居場所として機能する安定した運営</p> <p>ウイングス京都を拠点とするDV被害者自助グループの活動支援</p> <p>DV被害者自助グループと他のDV被害者とのネットワーク作り</p>
3. 実績
<p>回数(11(展示作業日を含む)) 定員(なし) 応募者数(-) 参加延数(39) 定員充足率(-%)</p> <p>「わたしが私でいるためにアフター同窓会」</p> <p>【日程】参加者とファシリテーターとの話し合いにより日程を決め、概ね月1回開催</p> <p>【ファシリテーター】竹之下雅代(ウィメンズカウンセリング京都)</p> <p>専門家の助言も得ながら、DV被害者が長く緩やかにつながる「居場所」の提供として、これまでの「DV被害者自立支援講座『わたしが私でいるために』」を受講したことのある方を対象に、日時や回数が固定される講座スタイルや当事者のみで運営される自助グループとは異なる、自由参加型の「わたしが私でいるためにアフター同窓会」を実施した。当事者が話し合いで日程を決めるスタイルで最終的に11回(展示作業日含む)の会合が実現した。</p>
4. 概要と成果
<p>初回の日程については、自助グループなどの活動のためウイングス京都に立ち寄る該当者から意見を聴取し設定した。当初は講座担当者も同席の上、緩やか且つ持続性のある作業目標を皆で検討。11月に開催されるウイングス京都パープル月間になんらかの形で参加することを作業目標に掲げ、回を重ね最終的に目標設定はメッセージの展示に集約していった。申込不要の自由参加型としたが毎回必ず何人かが参加しており、これはファシリテーターが毎回同席することで、モチベーションを高めることに成功したからと考えられる。語り合いと並行し、メッセージカードなどを作成し、講座担当者も、日程が合わないメンバーからのカード集めや、ちらし作りなどの作業協力を行った。10月に「DVサバイバーが伝えたいメッセージ」を完成し、展示作業から撤収までを自分たちで行い、最後に作品を各自持ち帰った。これらの成果は参加者の大きな自信につながった。自助グループを横断した集まりは今後も持続して行きたいとの機運が高まり、展示終了後も今後に繋げるための会合を重ねた。しかし課題に掲げた他のDV被害者とのネットワーク作りには、まだまだ丁寧な過程が必要であり、性急に実現させることは時期尚早との感もある。長期的なスパンでじっくりと取り組んでいきたい。</p>

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進	条項	第5号		
事業名	ドメスティック・バイオレンス対策事業	事業企画課			
講座名	WEN-DO護身術講習会				
目的	女性が暴力から身を守るための方法を学び体得することで、自分の持っている力を実感し、主体的に考え行動する。女性が尊重され、安全に自信を持って生きることができる社会の実現に繋げる。				
対象	①小学校高学年の女兒と女性の保護者 ②女性(18歳以上)				
事業費	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
	155	119	36		

事業の計画

1. 事業計画
<p>WEN-DOプログラムを用いた護身術講習。護身術のスキルだけでなく、暴力についての理解や自尊感情を大切にすることを学ぶ(全1回)</p> <p>※WEN-DOプログラムとは、カナダで誕生した女性のための自己防衛プログラム。特別な体力・運動能力を必要とせず、攻撃者の力を利用して最小限の力で自分を護る技を習得できる</p>
2. 課題
<p>講義と実技を組み合わせ、効果的に護身術を学ぶ。自分の安全を守ることを、女性が主体的に考え、行動することの大切さを伝える。</p>
3. 実績 回数(2) 定員(40) 応募者数(40) 参加延数(36) 定員充足率(90 %)
<p>①10/25(土)10:00~12:00「おやこのための護身術講習 For Girls」 7組(14人)の参加があった。</p> <p>②10/25(土)13:30~16:30「WEN-DO 未来を守る! 女性のための護身術講習」 22人の参加があった。</p> <p>【講師】 福多 唯 (Women's Self Defence WEN-DO インストラクター)</p>
4. 概要と成果
<p>新事業として親子対象講座を立ち上げた。小学校高学年の女兒と母親(女性の保護者)を対象として、子どもが暴力から身を守るための方法を学ぶ講座を実施した。子どもたちは、保護者が一緒だったためリラックスして受講できた様子だったが、集中力が途切れがちなのもあり、講座時間は2時間が限度だと感じた。また、10月は小学校や地域の催しが多いため、集客に課題が残った。女性を対象とした護身術講習は、3年連続で開催した初級編のプログラムである。自分の力で自分を守る方法を、体を動かしながら楽しく学び合うことができた。2年連続で受講された数名の方が積極的に質問されたことで、受講生同士の会話が盛り上がり、暴力を許さない気運も高まり、暴力のない社会を作る啓発につながった。継続した取り組みの効果が表れていた。</p>

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進	条項	第5号		
事業名	ドメスティック・バイオレンス対策事業	事業企画課			
講座名	パープルリボンの取り組み				
目的	「女性に対する暴力をなくす運動(11/12～25)期間」に関連し、11月中をパープルリボン月間と定め、ブックフェアの開催(図書情報室)や館内における情報掲示、パープルリボンツリーの設置等、市民への啓発事業を行う。				
対象	一般市民				
事業費	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
	460	18	442		

事業の計画

1. 事業計画
<p>年1回 実施予定</p> <p>1Fロビー等を利用して、常設展示及びイベント等を実施する。 実施にあたっては、近隣の女性センターや活動団体との協働により運営・開催する。</p>
2. 課題
<p>連携する団体との関係の持続。</p>
3. 実績
<p>「女性に対する暴力をなくす運動」(11/12～25)期間にあわせ、11月をパープルリボン月間として、女性や子どもへの暴力をなくす運動のシンボルであるパープルリボンを軸としたDV撲滅のための啓発を実施した。</p> <p>①パープルリボン月間 常設の取り組み 開催期間:11/1(土)～12/7(日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パープルリボン・ツリー&メッセージボード設置 ・女性に対する暴力に関する情報コーナー&ブックフェア開催 ・DVや子どもの虐待に関する団体の活動紹介(パネル展示) ・DV被害当事者の自主グループによるメッセージ作品の展示 ほか <p>②メッセージキルト10年のあゆみ展 開催期間/11月1日(土)～12月7日(日)</p> <p>ボランティアチーム楽希生によるメッセージキルトと署名キルトの展示。</p> <p>③パープルフェスタ2014 開催日時/11月22日 土曜日 10:30～16:00</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ「スタンプBAGでNO! DV!」 ・バザー&紙芝居 ・ミニステージ～こころのうた～ ・物品販売、バザー
4. 概要と成果
<p>昨年、一昨年に引き続き、展示及びイベント等でパープルリボンの啓発を行った。今年度は新たに自立支援講座の受講者らによる展示が加わり、当事者と支援者、そしてウイングス京都の運動講座や歌講座の受講者など、様々な立場の人や団体に関わり合う場となった。毎年実施することで、支援者グループもここに参加することを意識して下さるようになってきていると思う。</p>

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進	条項	第5号		
事業名	人材・団体育成事業	事業企画課			
講座名	市民活動サポート事業				
目的	市民グループ等の特性や強みを生かして協働することで、多様な人材と視点で男女共同参画に関する啓発や課題解決の取組みを行う。				
対象	市内で活動するNPOやグループ				
事業費	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
	345	285	60		

事業の計画

1. 事業計画								
男女共同参画の推進にかかわる諸活動をしているNPOやグループなどの実践的な研究や活動に対して助成し、男女共同参画の実現をめざす多様な取組みをサポートする。								
2. 課題								
事業の周知。助成内容の検討。								
3. 実績								
<p>応募があった5団体のうち、3団体について助成を行った。</p> <table border="0"> <tr> <td style="text-align: left;"><団体名></td> <td style="text-align: right;"><助成金額></td> </tr> <tr> <td>①NPO法人子供達と最先端科学技術の架け橋</td> <td style="text-align: right;">¥130,000- (上限)</td> </tr> <tr> <td>②パープル・ウイング</td> <td style="text-align: right;">¥50,000- (上限) ※返金 ¥20,426-</td> </tr> <tr> <td>③男性介護者を支援する会</td> <td style="text-align: right;">¥120,000- (上限)</td> </tr> </table>	<団体名>	<助成金額>	①NPO法人子供達と最先端科学技術の架け橋	¥130,000- (上限)	②パープル・ウイング	¥50,000- (上限) ※返金 ¥20,426-	③男性介護者を支援する会	¥120,000- (上限)
<団体名>	<助成金額>							
①NPO法人子供達と最先端科学技術の架け橋	¥130,000- (上限)							
②パープル・ウイング	¥50,000- (上限) ※返金 ¥20,426-							
③男性介護者を支援する会	¥120,000- (上限)							
4. 概要と成果								
<p>各団体とも助成事業を予定通り実施した。①NPO法人子供達と最先端科学技術の架け橋 は女子高校生のキャリア構築とリケジョ支援を目的として、ロールモデルトークを行った。働く女性の声を直接聞いた女子学生の受講満足度は高く、また教員や企業関係者の参加者も多く、理系女子のキャリア支援に関する包括的な取組みとなった。②パープル・ウイング実施の身近なDVを考える『おんなたちのカフェ』では安全な場でDVや家庭での出来事を話し合える場所を提供した。参加者の声からはDVに悩んでいる声が数多くあった。小規模の事業であるが、ジェンダーの視点を持って女性同士をつなぐ重要な取組みであり、この事業をやり遂げた団体の大きな支援にもなった。③男性介護者を支援する会は、全9回の事業を全て実施された。回を追うごとに参加者が増え、介護と仕事の両立や介護の担い手となる男性の課題に対して、ワーク・ライフ・バランスやジェンダーの視点など様々な角度から考察された。男性にとっての男女共同参画を進める事業の一環となった。</p>								

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進	条項	第5号		
事業名	人材・団体育成事業	事業企画課			
講座名	共催・後援事業／講座受講生のグループ育成				
目的	男女共同参画の問題に関して事業等を実施するNPOや企業と協働し、会場提供や広報協力を通じて事業の推進を支援する。 主催事業から発生したグループについて、活動の場や活動を活性化するための情報提供など、団体として自立していくためのさまざまな支援を行う。				
対象	NPOや企業／講座から発生したグループ				
事業費	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
	160	0	160		

事業の計画

1. 事業計画
男女共同参画社会の実現に向けた企画について、共催・後援を行う。 講座終了後のアフター会を通して、グループ化を支援する。
2. 課題
・協働団体との連携 ・自立に向けた組織運営に関するサポート
3. 実績
共催・後援事業は別紙8「共催・後援事業」(69p.)参照
4. 概要と成果
年間を通して5団体と共催事業に対し、企画・広報を含めた支援を行った。互いの立場や特性を認識・尊重しながら、共通する課題や問題の解決に向けた取組をすすめ、幅広い市民にアプローチすることができた。 グループ育成については、朗読に関するグループが、当協会事業に積極的に協力するなど、地域と連携が充実してきている。

法人	(単位:千円)				
定款	財団運営				
事業名	財務運営	総務課			
目的	収入の安定と経費削減				
事業費	予算額	執行額	増減	会計	法人会計
	3,670	3,083	587		

事業の計画

1. 事業計画
<p>(1) 収入の安定 寄附金募集の促進、賛助金導入検討 自主事業講座のリピーターによる自主事業収入の確保 京都市、他都市や企業からの受託・委託事業 助成金の活用</p> <p>(2) 経費削減 節電による電力量の削減 消耗品費の節減</p>
2. 課題
財源の安定に向け、自主財源率を高める
3. 実績
<p>(1) 収入の安定 ・寄付金制度について周知をはかった。 ・助成金の活用 助成金情報 24件 平成26年度事業 応募数 2件 獲得数 1件</p> <p>①「働く女性を応援する 男性子どもの生活自立支援」 日本テトラパック株式会社 16万円 【参考】平成25年度獲得数 3件 86万円</p> <p>(2) 経費削減 ・電力量は、前年度に比べ13,608kWh(参画センター部分のみ)の削減となった。 ・消耗品費は、前年度に比べ218万減少した。</p>
4. 概要と成果
<p>(1) 収入の安定 ・自主事業収入が前年度より48万円増加した。安定してニーズがあり、定員充足率の平均は93%。 ・助成金については、70万円減となった。</p> <p>(2) 経費削減 ・電力量は、前年度に比べ13,608kWh(参画センター部分のみ)の削減となったが、電気料金値上げにより、結果的に光熱水費が前年度より97万円増加した。 ・消耗品費については、前年度は、LED工事にともなう照明球の入れ替えにより、消耗品費が増えたが、今年度は、大規模な工事や修繕を行わなかったため、218万減少した。</p>

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進		条項	第5号	
事業名	京都市男女共同参画センターの目的利用団体に対する施設管理業務			総務課	
目的	京都市男女共同参画センターの施設管理業務を円滑に行うとともに、センターの次期指定管理に向け組織体制を整え、これまで以上に男女共同参画の推進拠点として市民の生活に根差した活気あるセンターを目指す。				
事業費	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
	31,065	31,475	△ 410		

事業の計画

1. 事業計画
<p>(1)男女共同参画社会実現の目的に即して活動する団体を育成、支援するために、目的利用団体として登録し、優先的に施設の貸出しを行う。</p> <p>(2)危機管理・消防訓練・防災計画 妊産婦を対象とした福祉避難所のマニュアル検討</p> <p>(3)環境改善(KES環境マネジメント) 電力消費量の1%削減 エコキャップ運動 クールスポット運動</p> <p>(4)サービス向上と苦情への対応 次期指定管理者を前提とした利用者の利便性向上(インターネット予約の導入) イベントホール管理運営体制の検討 動線を配慮したカウンター周辺の整備</p> <p>(5)利用者アンケートの実施</p> <p>(6)センターの認知度向上 広報の充実 ホームページ・Facebook・Twitterの活用・広報パンフレット作成等</p> <p>(7)施設利用者への展示スペースの設置</p>
2. 課題
<p>料金改定へのスムーズな移行、貸館稼働率の維持 新規広報媒体の積極的な利用</p>

3. 実績 および 4. 概要と成果

(1) 男女共同参画社会実現の目的に即して活動する団体を育成、支援するために
目的利用団体として登録し、優先的に施設の貸出しを行う。

<目的利用登録団体数> 平成25年度 99団体 平成26年度 91団体

<目的利用事業数> 平成25年度 5件 平成26年度 5件

新規目的利用登録団体は、新しく2団体を登録したが、解散した団体、利用実績のない団体
について登録の取消を行ったため、団体数は減少した。

(2) 危機管理

- ・京都市保健福祉局からの妊産婦福祉避難所指定について承諾し、3月に協定を締結した。
- ・消防訓練
第1回 6月 新任職員対象
第2回 11月 全館避難訓練
共同防火管理者会議 3月 実施
- ・8/16 ゲリラ豪雨によりセンター1階部分が浸水し、8/16午後夜間のみ閉館。
参画課、中京区役所、地域の自治防災団と連携を取り、8/17には通常通り開館した。

(3) 環境改善 (KES環境マネジメント)

①電力消費量の1%削減 達成率103%

②エコキャップ運動 達成率190%

③クールスポット運動 達成率1250%

全項目で目標を達成することができた。電力使用量は、館内照明をLEDに切り替えたため、
目標を達成できた。空調の使用量が多くを占めており、外気温に左右されるために確実な
削減が困難であるため、改善目標の検討が必要である。

(4) サービス向上と苦情への対応

フィットネスルームのCDデッキをネットワーク対応の機器に更新した。

スポーツルームのバスケットボール用のラインを引き直し、新しいルールに対応した。

調理コーナーの配水管及び床を修繕した。

(5) 利用者アンケートの実施

市民対応アンケート 【実施期間】 9/1～10/20 回収数 196枚

※別紙9「平成26年度窓口サービス評価・実践制度の実施結果について」参照(70p.)

中京区民ふれあい祭り【日時】10/26 10:00～15:00 回収数 149枚

※別紙10「中京区民ふれあい祭2014アンケート」参照(71p.)

市民対応アンケートでは、満足と答えた利用者が80%を超えた。

しかし、案内表示が分かりにくいことや待ち時間が長いことなどが課題となっている。

利用者への声かけもさらに徹底する。

中京区民ふれあい祭りでのアンケートは、例年250枚程度の回収数であったが、

イベントブース場所 異動に伴い、149枚と回収数が減った。

ただし、ウイングスの認知度は、77.9%となり、昨年度に比べ少し上昇した。

(6) センターの認知度向上

広報の充実

- ・ホームページ 閲覧数 平成25年度 438,978件 平成26年度 445,936件
- ・Facebook いいね登録者数 平成25年度 278人 平成26年度末 414人
- ・Twitter フォロワー数 平成25年度 684人 平成26年度末 895人

(7) 施設利用者への展示スペースの設置

<利用団体数> 平成25年度 のべ15団体 平成26年度 のべ15団体

収益	(単位:千円)				
定款	収益事業				
事業名	京都市男女共同参画センターの目的利用以外への施設管理業務			総務課	
目的	京都市男女共同参画センターの施設管理業務を円滑に行うとともに、センターの次期指定管理に向け組織体制を整え、これまで以上に男女共同参画の推進拠点として市民の生活に根差した活気あるセンターを目指す。				
事業費	予算額	執行額	増減	会計	収益事業
	52,895	53,593	△ 698		

事業の計画

1. 事業計画
<p>(1) 目的利用以外の団体に対し、施設の貸出を行う</p> <p>(2) 危機管理・消防訓練・防災計画</p> <p>(3) 環境改善(KES環境マネジメント)(再掲)</p> <p>(4) サービス向上と苦情への対応(再掲)</p> <p>(5) 利用者アンケートの実施(再掲)</p> <p>(6) センターの認知度向上(再掲)</p> <p>(7) 施設利用者への展示スペースの設置(再掲)</p>
2. 課題
施設を幅広く活用できることを広報し、活気あるセンターにする。
3. 実績
<p>(1) 施設利用率(日数利用率) 平成26年度 90.2% (参考:平成25年度 91.5%)</p> <p>貸館使用料 平成26年度 66,441,840円 (参考:平成25年度 67,344,300円)</p> <p>入館者数 平成26年度 483,970人 (参考:平成25年度 504,342人)</p> <p>※別紙11「平成26年度 京都市男女共同参画センター利用状況」(72p.)</p>
4. 概要と成果
施設利用率、貸館使用料、入館者数とも若干減少した。8月の浸水、9月のアートフリーマーケットの入場者数の減少などが原因と思われる。

法人	(単位:千円)				
定款	財団運営				
事業名	経営管理、組織・人事管理			総務課	
目的	評議員や理事の意思決定を反映した組織をつくり、執行機関としての理事会を中心にした経営基盤の強化を検討するとともに、当協会の目的を達成し、協会の存在価値を高める職員を育成する。				
事業費	予算額	執行額	増減	会計	法人会計
	3,670	3,083	587		

事業の計画

1. 事業計画
<p>(1) 評議員会・理事会の開催・運営</p> <p>① 評議員会 定期 年1回 6月 (臨時に開催する場合もある)</p> <p>② 理事会 定期 年2回 5月・3月 (臨時に開催する場合もある)</p> <p>③ 業務執行理事会 年2回 5月・3月 (臨時に開催する場合もある)</p> <p>④ 管理職会議(常勤役員・管理職) 月1回程度</p> <p>⑤ 事務局会議(事務局長・課長・係長・主任) 毎週1回</p> <p>⑥ 各係会議 隔週1回程度</p> <p>⑦ その他 京都市男女共同参画推進課との連絡会議(京都市主管課との連絡体制として) 毎月1回</p> <p>(2) 組織(別紙12)</p> <p>(3) 指定管理に関する業務 「京都市男女共同参画センター」次期指定管理への応募 情報公開 個人情報保護の取り扱い</p> <p>(4) 人事・労務・研修 組織づくりに向けた人材育成研修 目標管理システム</p> <p>(5) 公益法人に関する業務 平成27年度評議員、理事の改選に伴う組織改革の検討</p> <p>(6) 「グランドヴィジョン」策定</p> <p>(7) その他の財団運営 事業報告会の実施 大学インターンシップ受け入れ</p>
2. 課題
財団運営の指針となるグランドヴィジョンの遂行に向けた職員の人材育成

3. 実績 および 4. 概要と成果

(1) 評議員会・理事会の開催・運営

- | | | | |
|----------------------------|-----|-----------------------------|----------|
| ①評議員会 | 定期 | 6/16(月)開催 | |
| ②理事会 | 定期 | 第1回 5/26(月) ・ 第2回 3/24(火)開催 | |
| | 臨時 | 第1回 8/19(火) | |
| ③業務執行理事会 | 第1回 | 5/19(月) ・ 第2回 3/9(月)開催 | |
| ④管理職会議(常勤役員・管理職) | | | 実施なし |
| ⑤事務局会議(事務局長・常務理事・課長・係長・主任) | | | 毎週1回実施 |
| ⑥各係会議 | | | 隔週1回程度実施 |
| ⑦その他 | | | |
| 京都市男女共同参画推進課との連絡会議 | | | 実施なし |

(2) 組織 ※別紙12「組織体制」参照(74p.)

(3) 指定管理に関する業務

- ・京都市男女共同参画センター指定管理者に応募 8/29
- 同指定管理選定委員会 プレゼンテーション審査 9/30
- 指定管理者として指名 10/22
- ・指定管理応募にあわせ、「中期経営計画」を策定、指定管理応募書類として提出
- ・情報公開 公開件数 6件
- ・個人情報保護の取り扱い 問題なく運用

(4) 人事・労務・研修

- ・他機関への研修やメンタルヘルス研修、公益法人会計研修など
※別紙13「平成26年度 研修一覧」参照(75p.)
- ・人材育成研修
「ビジョン」「中期経営計画」について、全職員で共通理解をつくる。
1回目30分 2回目90分
「講師力&ファシリテーター能力向上基礎研修」2時間×2回
- ・目標管理システム スケジュール通り実施

(5) 公益法人に関する業務

- ・平成25年度事業報告 6/28提出
 - ・平成26年度事業計画 3/27提出
- 提出先: 京都府

(6) グランドビジョン策定

- ・5月～7月 ビジョンワークグループによる会議・作成
- ・平成27年1月 ビジョン「未来へのつばさ」策定

(7) その他の財団運営

- ・メンタルヘルス休職後の復帰プログラム実施
- ・半期事業報告会の実施
理事、固有職員対象 11/12実施
- ・大学インターンシップ受け入れ
京都華頂大学 2回生 2名 2/17～2/23 5日間

平成26年度 図書資料の収集と提供

<別紙1-1>

入室者数

平成25年度末	平成26年度末
89,741人	82,952人

蔵書数

	平成25年度末	平成26年度末
一般図書	52,642冊	52,482冊
雑誌・ミニコミ・行政資料など	22,189冊	23,731冊
貸出用DVD・ビデオ	703本	706本

図書情報室利用状況

	平成25年度末	平成26年度末
利用登録者数	874人	898人
のべ利用者数	12,767人	14,041人
貸出冊数	32,612冊	31,991冊
DVD・ビデオ貸出数	1,611本	1,149本

予約数

	平成25年度末	平成26年度末
図書	517冊	1,031冊
雑誌	357冊	483冊
ビデオ	18本	19本
合計	892件	1,533件

リクエスト数

全リクエスト数	内、購入数
83件	17件

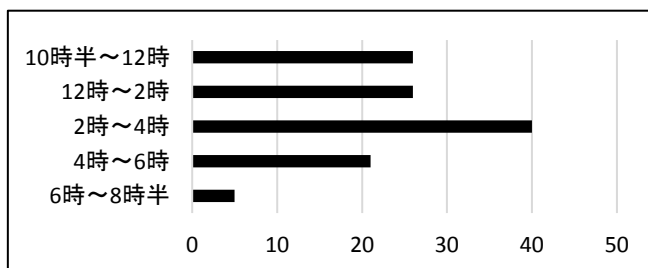
研修貸出

研修貸出件数	貸出タイトル数
3件	5タイトル

平成26年度 図書情報室アンケート 回答数:104 <別紙1-2>

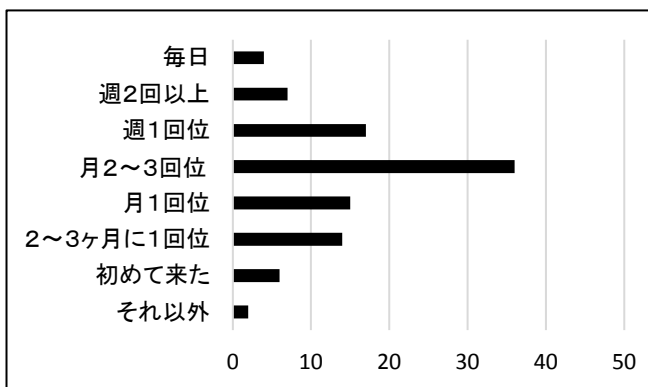
1.本日のご利用時間帯を教えてください。

10時半～12時	26
12時～2時	26
2時～4時	40
4時～6時	21
6時～8時半	5



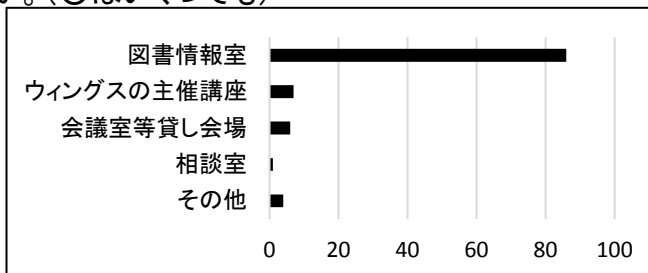
2.図書情報室にはどれ位の頻度で来られますか。

毎日	4
週2回以上	7
週1回位	17
月2～3回位	36
月1回位	15
2～3ヶ月に1回位	14
初めて来た	6
それ以外	2



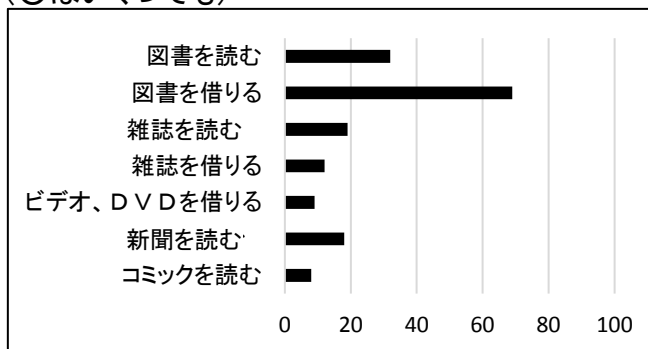
3.本日のウイングス京都のご利用の目的は何ですか。(〇はいくつでも)

図書情報室	86
ウイングスの主催講座	7
会議室等貸し会場	6
相談室	1
その他	4



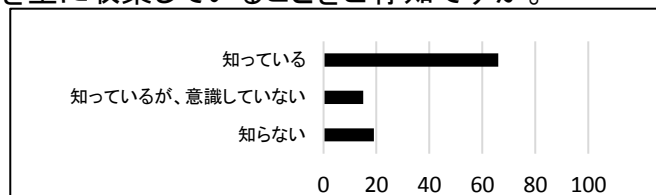
4.本日の図書情報室のご利用の目的は何ですか。(〇はいくつでも)

図書を読む	32
図書を借りる	69
雑誌を読む	19
雑誌を借りる	12
ビデオ、DVDを借りる	9
新聞を読む	18
コミックを読む	8



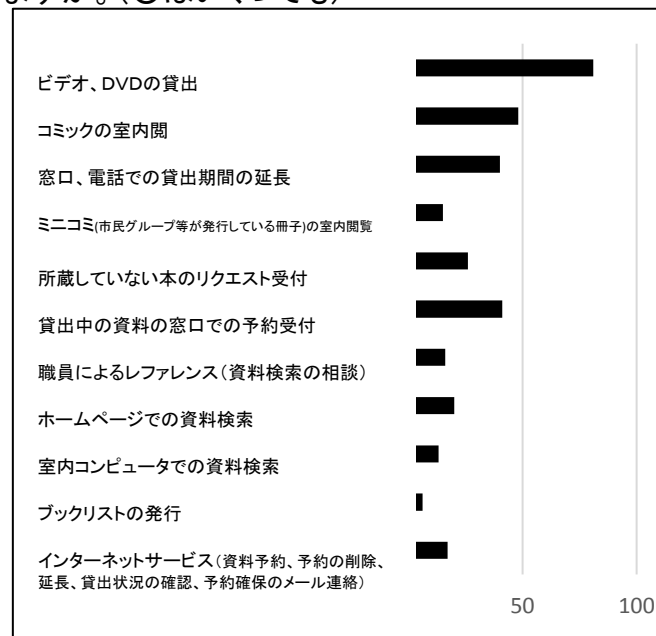
5.この図書情報室は、男女共同参画に関する資料を主に収集していることをご存知ですか。

知っている	66
知っているが、意識していない	15
知らない	19



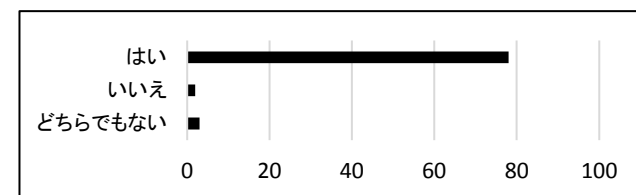
6.図書情報室のサービスで、知っているものはありますか。(〇はいくつでも)

ビデオ、DVDの貸出	81
コミックの室内閲覧	48
窓口、電話での貸出期間の延長	40
ミニコミ(市民グループ等が発行している冊子)の室内閲覧	15
所蔵していない本のリクエスト受付	26
貸出中の資料の窓口での予約受付	41
職員によるレファレンス(資料検索の相談)	16
ホームページでの資料検索	20
室内コンピュータでの資料検索	13
ブックリストの発行	6
インターネットサービス(資料予約、予約の削除、延長、貸出状況の確認、予約確保のメール連絡)	17



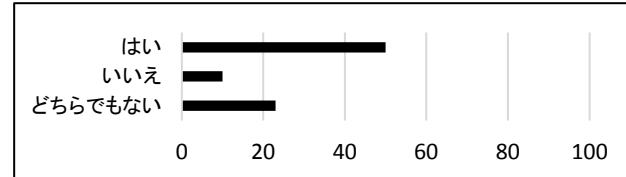
7.書架はきれいに整理されていますか。

はい	78
いいえ	2
どちらでもない	3



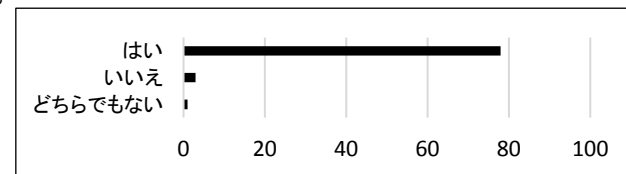
8.探している図書はすぐに見つかりますか。

はい	50
いいえ	10
どちらでもない	23



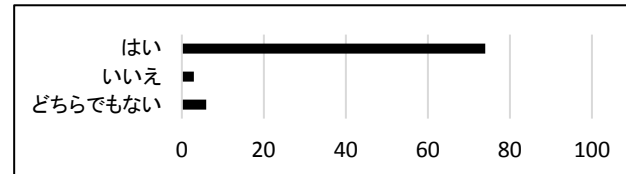
9.テーブルや書架はきれいに清掃されていますか。

はい	78
いいえ	3
どちらでもない	1



10.係員の対応はていねいですか。

はい	74
いいえ	3
どちらでもない	6



インターネットでの情報発信

ホームページによる情報掲載

○ホームページの閲覧数

平成 22 年	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
364, 879 ビュー	372, 696 ビュー	407, 078 ビュー	438, 973 ビュー	445, 936 ビュー

○ホームページの訪問数

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
訪問数	80, 448 回	91, 742 回	112, 540 回	134, 935 回	146, 267 回
うち新規	44, 895 回	50, 454 回	60, 419 回	74, 294 回	85, 271 回
うちリピーター	35, 553 回	41, 288 回	52, 121 回	60, 641 回	60, 996 回

○携帯サイトへの閲覧数

平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
2, 042 ビュー	2, 711 ビュー	2, 677 ビュー	2, 249 ビュー	1, 916 ビュー

※ホームページの閲覧数に含む。平成 22 年 11 月からカウント開始。

メールマガジン「ウィングスプレス」

○PC版メールマガジン登録者数（平成 27 年 3 月現在）

平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
1, 248 人	1, 230 人	1, 232 人	1, 214 人	1, 270 人	1, 318 人	1, 364 人

○携帯版メールマガジン登録者数（平成 26 年 3 月現在）

平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
52 人	102 人	216 人	383 人	460 人

平成26年度 みんなで考える男女共同参画講座 年間利用数

<一般市民対象>

		件数	出席	男	女
1	第1四半期	3	28	3	25
2	第2四半期	3	25	4	21
3	第3四半期	3	18	2	16
4	第4四半期	3	33	5	28
		12	104	14	90

<企業対象>

		件数	出席	男	女
1	第1四半期	1	17	7	10
2	第2四半期	0	0	0	0
3	第3四半期	1	13	5	8
4	第4四半期	2	95	25	70
		4	125	37	88

<学校対象>

		件数	出席	男	女
1	第1四半期	4	153	70	83
2	第2四半期	15	236	98	138
3	第3四半期	1	17	3	14
4	第4四半期	1	23	9	14
		21	429	180	249

<PTA対象>

		件数	出席	男	女
1	第1四半期	0	0	0	0
2	第2四半期	0	0	0	0
3	第3四半期	0	0	0	0
4	第4四半期	0	0	0	0
		0	0	0	0

<京都市>

		件数	出席	男	女
1	第1四半期	3	90	44	46
2	第2四半期	1	50	7	43
3	第3四半期	2	41	14	26
4	第4四半期	2	66	21	45
		8	247	86	160

<その他行政・団体対象>

		件数	出席	男	女
1	第1四半期	0	0	0	0
2	第2四半期	1	130	0	130
3	第3四半期	2	210	100	110
4	第4四半期	0	0	0	0
		3	340	100	240

平成26年度年間利用数	件数	出席	男	女
合計	48	1245	417	827

四半期ごとの利用数	件数	出席	男	女
第1四半期	11	288	124	164
第2四半期	20	441	109	332
第3四半期	9	299	124	174
第4四半期	8	217	60	157

運動実技講座

●フラダンス講座

楽しいフラダンス 月曜 昼 13:15~14:15 定員各 35 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数 (全て女性)
春期	4/21 ~ 7/14	昼	12	33
秋期	9/ 1 ~ 12/15	昼	12	29
冬期	1/19 ~ 3/23	昼	10	29
合計			34	91

講師：レイ・オフ・レナフラスタジオ 高田 美紀

いきいきフラダンス 月曜 昼 15:00~16:00 定員各 35 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数 (全て女性)
春期	4/21 ~ 7/14	昼	12	23
秋期	9/ 1 ~ 12/15	昼	12	23
冬期	1/19 ~ 3/23	昼	10	17
合計			34	63

講師：レイ・オフ・レナフラスタジオ代表 森井 レナ他

●ヨガ講座

バランシング・ヨガ 月曜 夜 19:00~20:15 定員各 35 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数 (全て女性)
春期	4/14 ~ 8/ 4	夜	15	31
秋期	8/25 ~ 12/15	夜	13	29
冬期	1/ 5 ~ 3/23	夜	11	24
合計			39	84

講師：ヨガインストラクター 伊藤 加奈子

骨盤ヨガ 金曜 昼 13:15~14:30 定員各 35 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数 (全て女性)
春期	4/11 ~ 7/25	昼	16	33
秋期	9/ 5 ~ 12/19	昼	16	30
冬期	1/ 9 ~ 3/20	昼	11	32
合計			43	95

講師：ヨガスタジオ TAMISA Yuka

ゆったりヨガ 金曜 昼 15:00~16:15 定員各 35 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数 (全て女性)
春期	4/11 ~ 7/25	昼	16	26
秋期	9/ 5 ~ 12/19	昼	16	27
冬期	1/ 9 ~ 3/20	昼	11	24
合計			43	77

講師：ヨガスタジオ TAMISA Yuka

パワーヨガ (夜コース) 木曜 夜 19:00~20:15 定員各 35 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数 (全て女性)
春期	4/10 ~ 7/31	夜	17	38
秋期	9/ 4 ~ 12/18	夜	16	38
冬期	1/ 8 ~ 3/19	夜	11	36
合計			44	112

講師：ヨガスタジオ TAMISA Erica

●リズムウォーク & ボールエクササイズ講座

木曜 朝 10:00~11:30 定員各 35 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数 (全て女性)
春期	4/17 ~ 7/24	朝	15	21
秋期	9/11 ~ 12/18	朝	15	21
冬期	1/15 ~ 3/19	朝	10	18
合計			40	60

講師：エアロビクスダンスインストラクター 酒井 祐子

●ピラティス講座

金曜 夜 Reset 19:00~20:15 定員各 35 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数 (うち男性)
春期	4/ 4 ~ 7/25	夜	17	33 (1)
秋期	8/29 ~ 12/26	夜	18	30 (1)
冬期	1/16 ~ 3/20	夜	10	24 (1)
合計			45	87 (3)

講師：STOTT PILATES 公認インストラクター 近藤 美由紀 (春期)
STOTT PILATES 公認インストラクター 藤井 良子 (秋期、冬期)

土曜 朝 Flow 10:00~11:15 定員各35人

	実施日	時間帯	回数	受講者数 (うち男性)
春期	4/5 ~ 7/26	朝	16	37 (3)
秋期	8/30 ~ 12/20	朝	17	37 (2)
冬期	1/10 ~ 3/14	朝	10	37 (2)
合計			43	111 (7)

講師：STOTT PILATES 公認インストラクター 池端 美紀

●気功講座

金曜 朝 10:00~11:30 定員各35人

	実施日	時間帯	回数	受講者数 (うち男性)
春期	4/18 ~ 8/1	朝	16	27 (2)
秋期	9/5 ~ 12/19	朝	16	25 (2)
冬期	1/9 ~ 3/13	朝	10	26 (3)
合計			42	78 (7)

講師：京都気功学院講師 矢野 知恵子

●笑いヨガ

火曜 朝 10:00~11:30 定員各35人

実施日	時間帯	回数	受講者数 (うち男性)
9/2 ~ 11/11	朝	6	21 (2)
1/13 ~ 3/24	朝	6	15 (0)
合計		12	36 (2)

講師：笑いヨガリーダー 玉木 悦子

●運動講座ビジター

	受講者数 (うち男性)
春期	11 (2)
秋期	10 (2)
冬期	8 (0)
合計	29 (4)

歌講座

●歌講座

楽しいコーラス(初級)

月曜 13:30~15:00 定員各 40 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数 (うち男性)
春期	4/14 ~ 7/28	昼	14	26 (2)
秋期	9/ 1 ~ 12/15	昼	12	30 (1)
冬期	1/19 ~ 3/23	昼	10	38 (1)
合計			36	94 (4)

講師：声楽指導 玉木 悦子

シネマ&ミュージカルソング

木曜 13:30~15:00 定員各 40 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数 (うち男性)
春期	4/10 ~ 7/24	昼	15	21 (0)
秋期	9/11 ~ 12/18	昼	15	21 (1)
冬期	1/15 ~ 3/19	昼	10	23 (1)
合計			40	65 (2)

講師：声楽トレーナー 安藤 邦子

楽しいゴスペル&ポップス

木曜 15:30~17:00 定員各 40 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数 (うち男性)
春期	4/10 ~ 7/24	昼	15	37 (3)
秋期	9/11 ~ 12/18	昼	15	38 (3)
冬期	1/15 ~ 3/19	昼	10	36 (3)
合計			40	111 (9)

講師：声楽トレーナー 安藤 邦子

心やわらぐ愛唱歌をうたう

金曜 13:30~15:00 定員各 40 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数 (うち男性)
春期	4/11 ~ 7/18	昼	15	30 (3)
秋期	9/12 ~ 12/19	昼	15	33 (2)
冬期	1/16 ~ 3/20	昼	10	33 (3)
合計			40	96 (8)

講師：声楽トレーナー 安藤 邦子

●歌講座ビジター

	受講者数 (うち男性)
春期	48 (3)
秋期	0 (0)
冬期	11 (0)
合計	59 (3)

●歌声喫茶 月1回×12回 (うち拡大版4回)、フォーク&ポップス版×1回
歌声喫茶

金曜 18:30~20:30 定員各 50 人

実施日	時間帯	回数	受講者数 (うち男性)
5/16	夜	1	70 (15)
6/20	夜	1	71 (14)
8/ 8	夜	1	69 (11)
9/19	夜	1	79 (11)
11/21	夜	1	70 (15)
12/19	夜	1	63 (10)
2/20	夜	1	71 (12)
3/20	夜	1	67 (9)
合計		8	560 (97)

講師：リーダー 島田 静雄

歌声喫茶 拡大版！

土曜 14:00~16:00 定員 200 人

実施日	時間帯	回数	受講者数 (うち男性)
4/19	昼	1	187 (22)
7/19	昼	1	183 (21)
10/18	昼	1	204 (26)
1/17	昼	1	182 (18)
合計		4	756 (87)

講師：リーダー 島田 静雄

歌声喫茶 フォーク&ポップス版

金曜 18:30~20:30 定員 50 人

実施日	時間帯	回数	受講者数 (うち男性)
2/ 6	夜	1	70 (7)
合計		1	70 (7)

講師：リーダー 島田 静雄

朗読講座

リフレッシュ朗読！講座

月曜 13:30~15:30 定員 25 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数 (うち男性)
前期	5/12 ~ 7/ 8	昼	10	20
冬期	1/20 ~ 3/17	朝	12	17
合計			22	37

講師：朗読指導者・ボイストレーナー 栗山かおり

朗読ライブ

うたかたライブ

金曜 18:30~20:30 定員 50 人

実施日	時間帯	回数	受講者数 (うち男性)
8/1	夜	1	65 (6)
12/12	夜	1	64 (4)
合計		2	129 (10)

出演：栗山かおり・鈴木こう・梶原玲子

保育事業

全体

	保育実施回数	子どもの人数	保育者の人数
マザーグース	273 回	500 人	587 人
他団体	0 回	0 人	0 人
合計	273 回	500 人	587 人

講座保育

	保育実施回数	子どもの人数	保育者の人数
マザーグース	226 回	425 人	503 人
他団体	0 回	0 人	0 人
合計	226 回	425 人	503 人

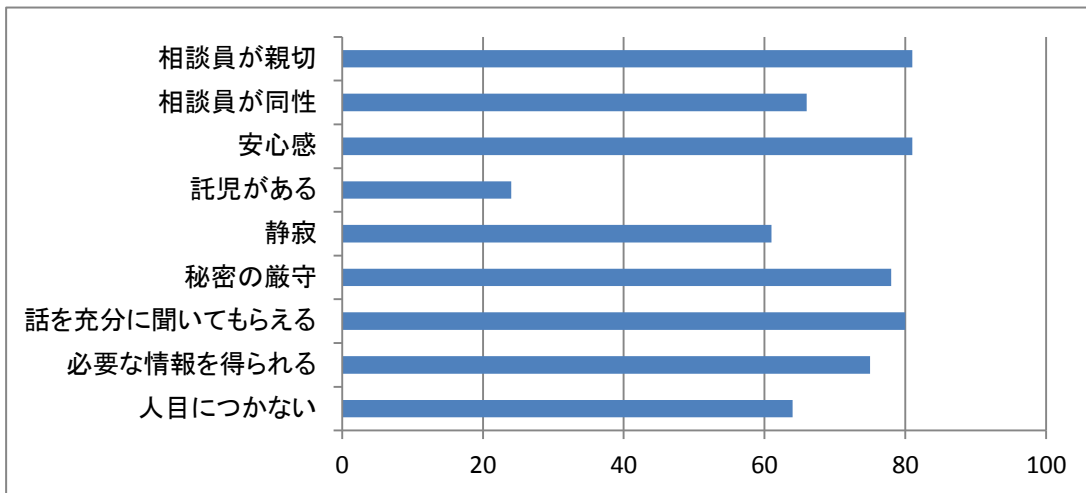
一時保育

	保育実施回数	子どもの人数	保育者の人数
マザーグース	47 回 (内、相談保育 30 回)	75 人	84 人

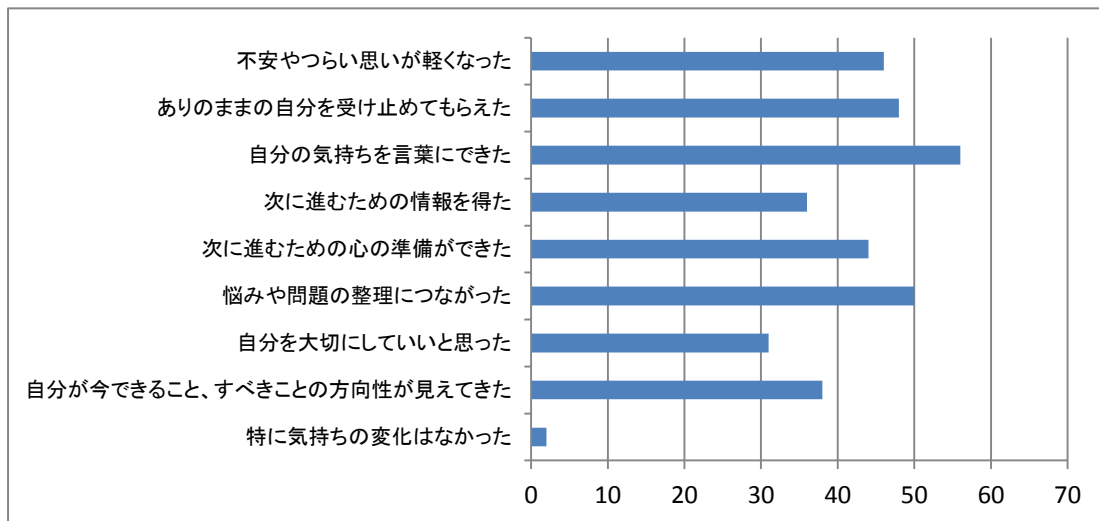
ふれあいひろば

	実施回数	参加者数	
		大人的人数	子どもの人数
マザーグース	13 回	131 人	135 人

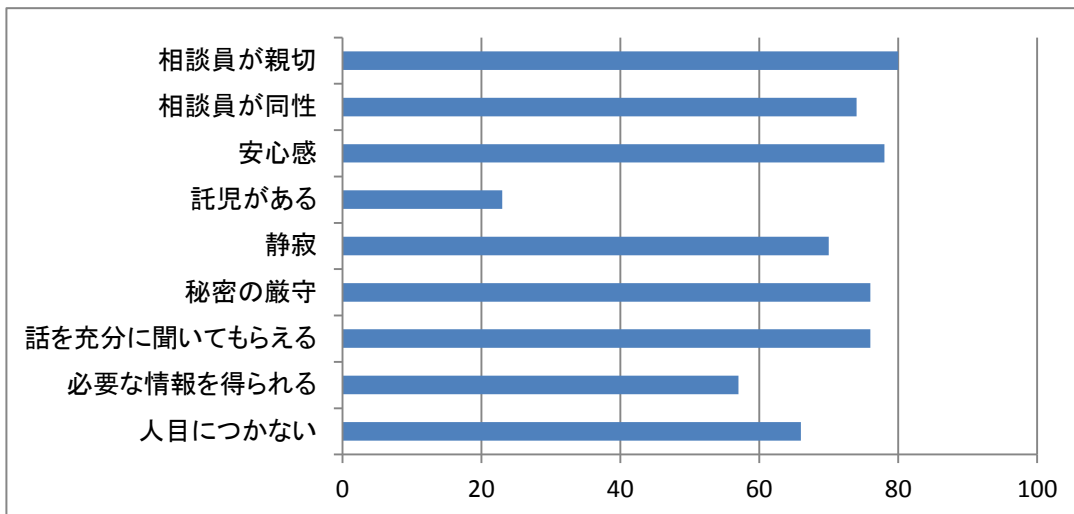
1.ウイングス京都相談室にどのようなことを期待されますか？



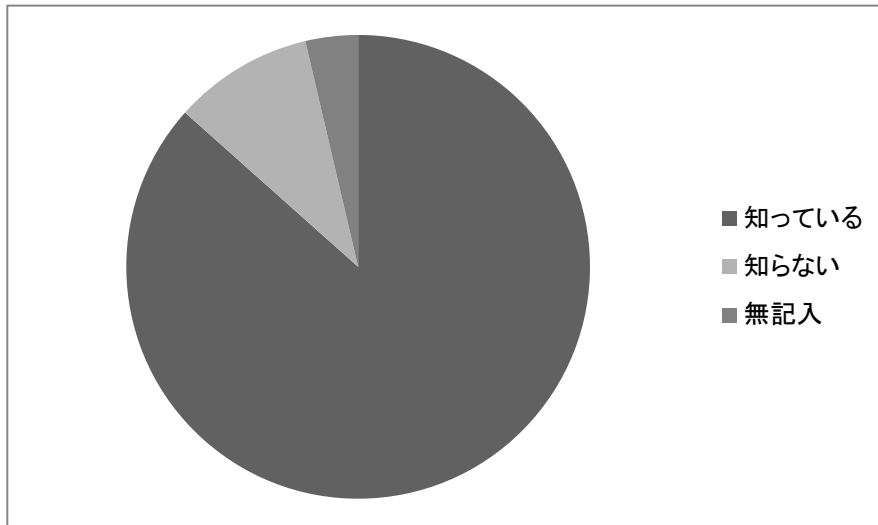
2.今日の相談はどのようにやりましたか？



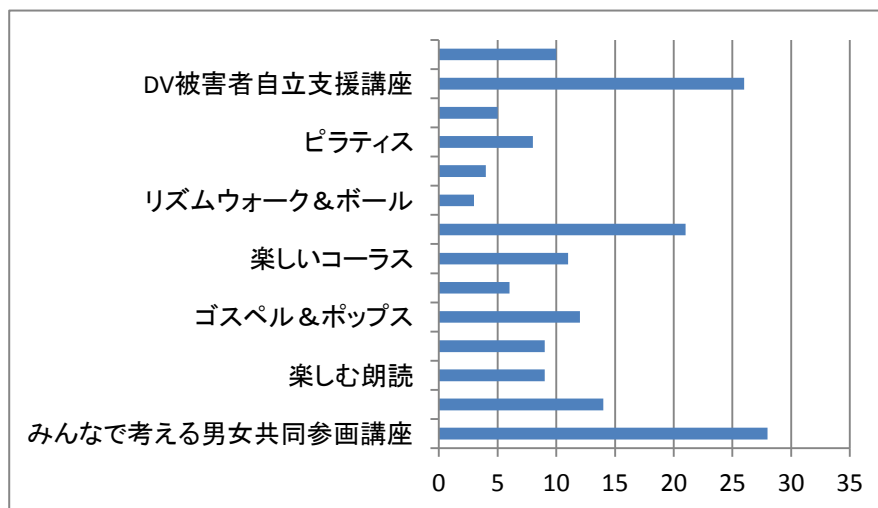
3.今日の相談はいかがでしたか



4. 図書情報室があることを知っていますか？



◆知っているセミナーや講座を教えてください



関連機関連携/苦情・要望等処理制度の受付

ア 女性のための相談ネットワーク会議

実施日	テーマ	参加機関/人数
7月8日	講演「人格とパーソナリティ～パーソナリティ障害の“真実”～」 岩井圭司（兵庫教育大学大学院学校教育研究科人間発達教育専攻教授） 「男女共同参画の視点での防災支援事業について」京都府男女共同参画センター職員	18機関/26名
2月3日	事例研究 スーパーバイザー 井上摩耶子	16期間/23名

イ 配偶者からの暴力に関するネットワーク京都会議実務者会議

実施日	テーマ	参加機関/人数
7月24日	相談部会 ① 実務者会議（各専門部会について） ② DVネットワーク京都会議（主催）事業について ③ 平成26年度京都府・市事業について ④ DV対策に関わる関係機関・団体の取組（報告）及び意見交換について	27機関/27名
8月15日	相談部会 ① 相談機関連携に関する情報 ② デートDV相談の実際（講演）/啓発部会	12機関/17名

ウ 京都府犯罪被害者支援連絡協議会 性犯罪被害者対策研究分科会

実施日	テーマ	参加機関/人数
2月18日	事務局の取組状況/発表「性犯罪被害者支援について」/ディスカッション「障害を持つ被害者について」/質疑応答	19機関/25名 警察側11名

エ 中京相談連絡ネットワーク会議

実施日	テーマ	参加機関/人数
12月5日	警察関係者紹介/護身術教室/各機関・団体業務内容紹介/質疑応答	8機関/21名

オ 京都市男女共同参画苦情・要望処理制度の受付

苦情項目	相談 (ウイングス京都相談室の 対応で終了したもの)	申し出 (問合せ・相談後申出書が 提出されたもの)
性別による人権侵害と認められる行為に対する苦情	0	0
男女共同参画に関する施策の苦情	0	0
男女共同参画に影響を与える施策に関する苦情	0	0
問合せ	1	0
その他	0	0
計	1	0

<別紙8>

共催・後援事業

	団体名	テーマ	実施日	参加者数 (のべ)
1	ピンクリボン京都 実行委員会	市民公開講座 「女性としていきいき 過ごすために大切なこと」	9/27 (土)	91
2	ウィメンズセンター大阪	もっと知りたい! 女のカラダ全国 キャラバン in 京都	10/19(日)	91
3	京都アート フリーマーケット 実行委員会	京都アートフリーマーケット 2014 秋	9/19(金)～ 21(日)	-
4	村岡 正司	『切断ヴィーナス』 越智貴雄のトークライブ	9/27 (土)	37
5	京都アート フリーマーケット 実行委員会	京都アートフリーマーケット 2015 春	3/13(金)～ 15(日)	-

平成26年度「窓口サービス評価・実践制度」の実施結果について <別紙9>

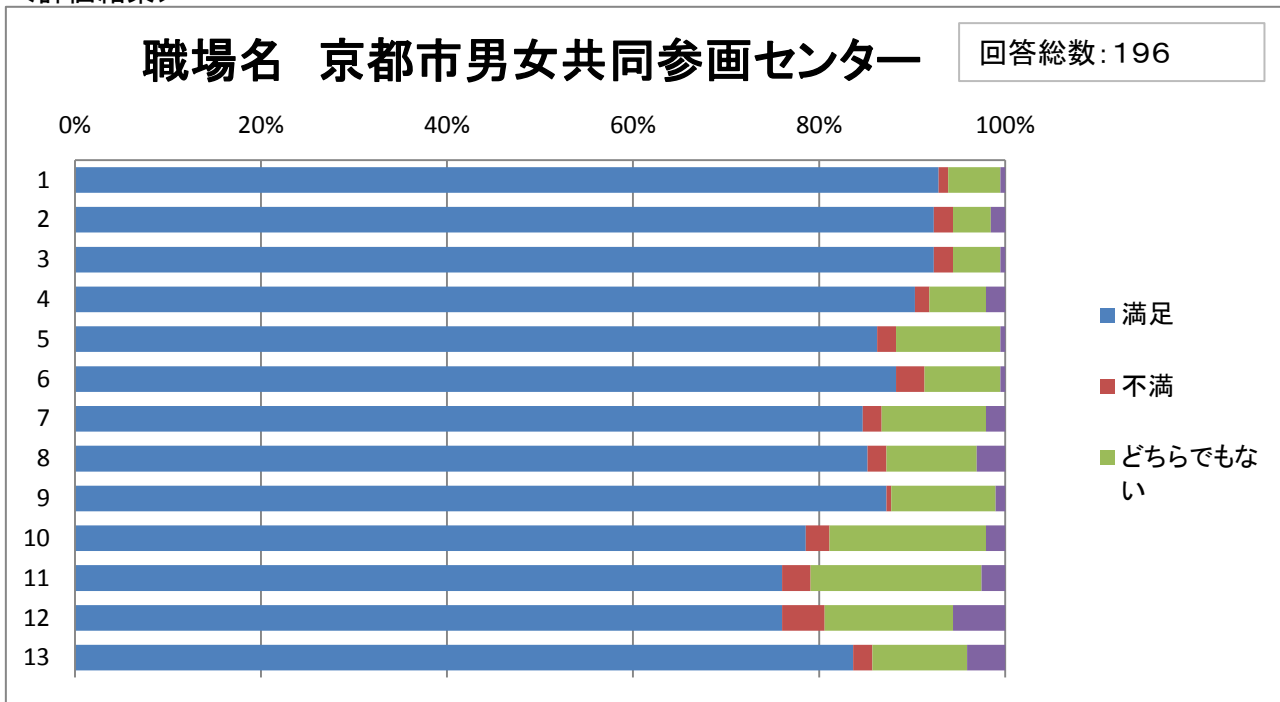
京都市男女共同参画センター

1 窓口アンケートの各職場の評価結果について

<アンケート項目>

- | | |
|------------------------|----------------------|
| ① あいさつはきちんとできていましたか。 | ⑧ 説明は的確でわかりやすかったですか。 |
| ② 言葉づかいはていねいでしたか。 | ⑨ 整理、整頓は行き届いていましたか。 |
| ③ 服装や髪型などは清潔感がありましたか。 | ⑩ 案内表示はわかりやすかったですか。 |
| ④ 服装などは業務にふさわしいものでしたか。 | ⑪ 職員からの声かけはできていましたか。 |
| ⑤ 笑顔など、表情は感じがよかったですか。 | ⑫ 待ち時間はいかがでしたか。 |
| ⑥ 姿勢や態度は、誠実さが感じられましたか。 | ⑬ 雰囲気はいかがでしたか。 |
| ⑦ 説明は親切で、ていねいでしたか。 | |

<評価結果>



2 自由記載欄に記入していただいた主な御意見等

- ・満足しているので、特に改善は見当たりません。
- ・いつもよくしていただいています。ありがとうございます。
- ・施設の申請をインターネットで出来るようにしてほしい。
- ・施設の支払いを振込にしてほしい。
- ・部屋やトイレの掃除が出来てない。
- ・職員の声掛けが出来ていない。
- ・表示がわかりにくい。
- ・蔵書を増やしてほしい。
- ・本のジャンル分けのイラストボードがあれば良い。
- ・新聞や雑誌を複数手元にキープする人が見られるので、ひとり一度に一部と明記してほしい。

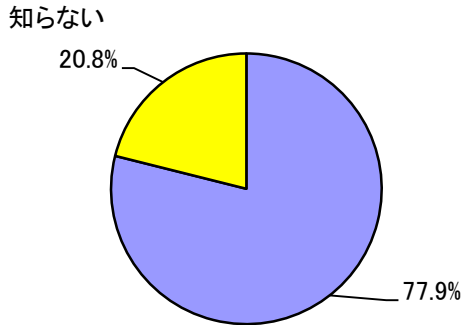
中京区民ふれあい祭2014アンケート

<別紙10>

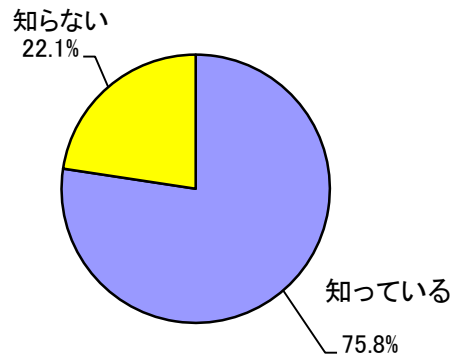
実施日：2014年10月26日(日)

回収数：149

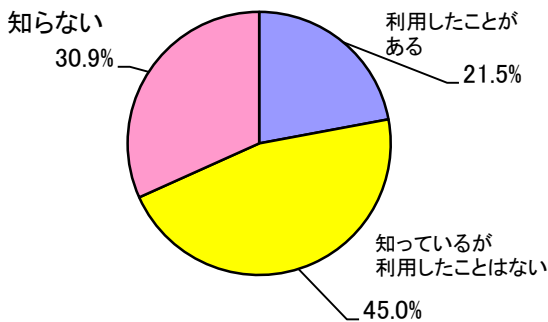
【設問1】「ウイングス京都」をご存知ですか？



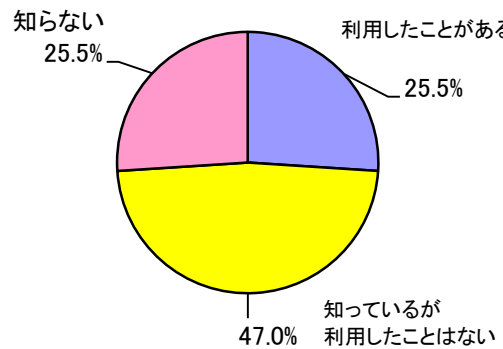
【設問2】どこにあるかご存知ですか？



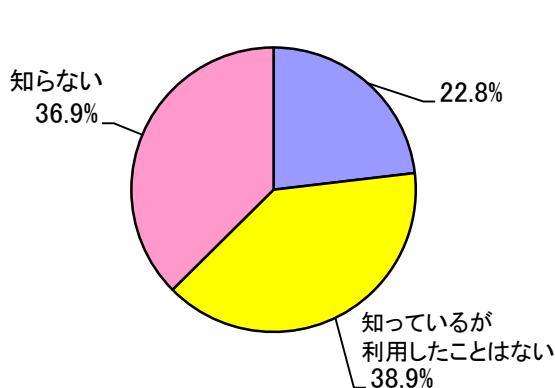
【設問3】会議室やスポーツルームの貸出を口知っていますか



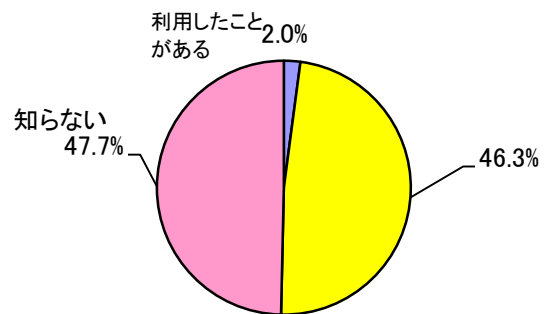
【設問4】たくさんの講座やイベントを行っています、知っていますか



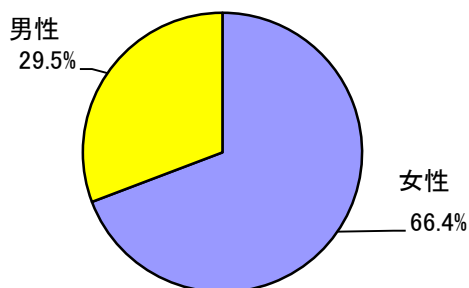
【設問5】図書情報室で図書や雑誌、DVDの貸出、コミックの閲覧などを行っていることを知っていますか



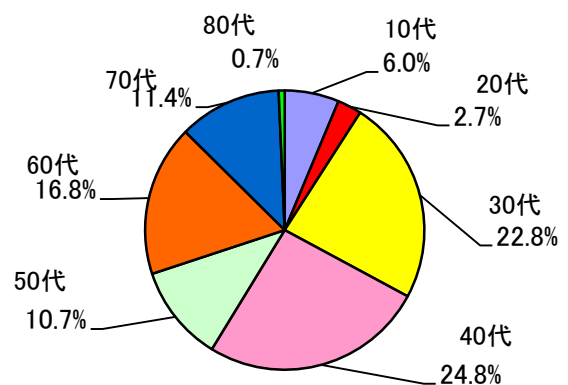
【設問6】さまざまな相談を受けていますが、知っていますか



【設問8】性別



【設問9】年代



平成26年度 京都市男女共同参画センター利用状況

【日数使用率】※日数使用率は区分使用(午前・午後・夜間)のうち、一回でも利用があれば100と計上する。

(単位:%)

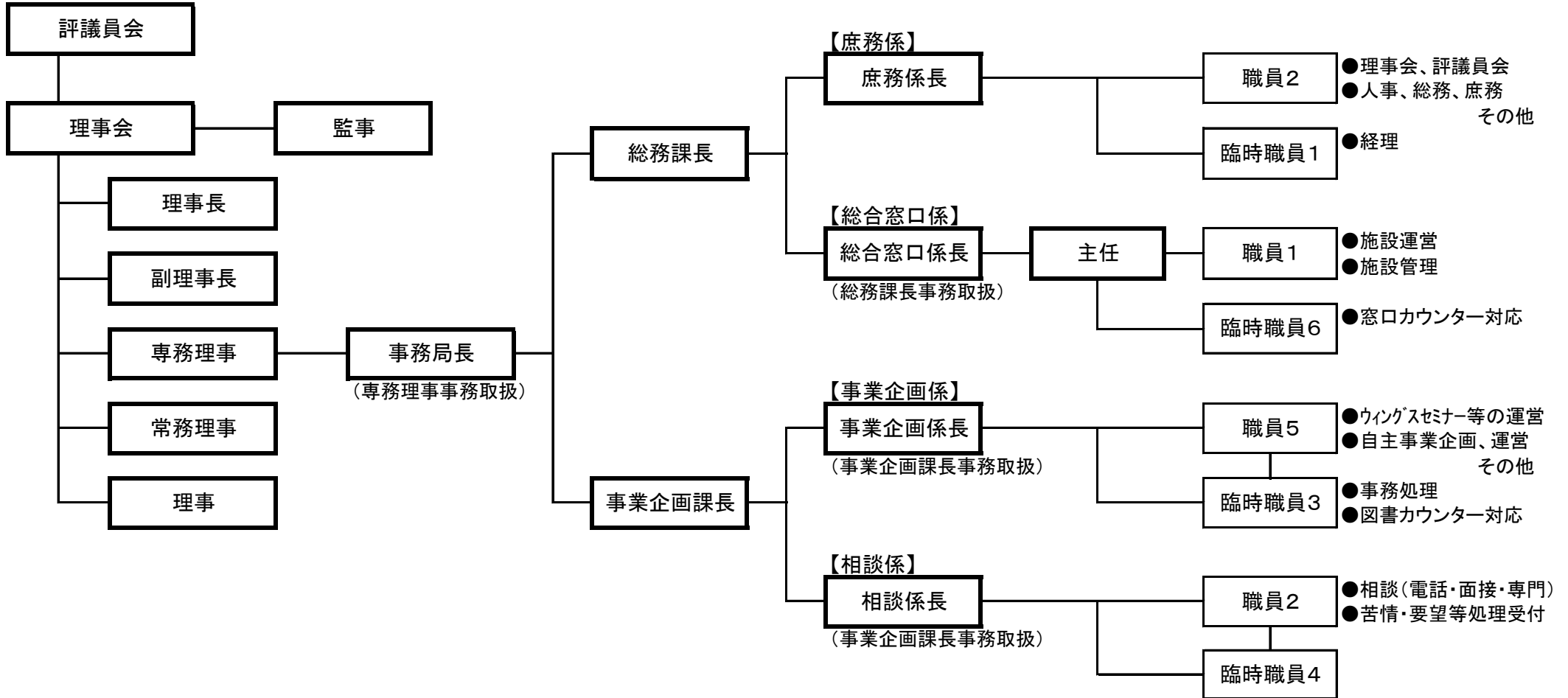
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	施設別平均
開所日数(日)		25	27	26	26	27	26	26	26	24	24	24	27	
イベントホール		44.0	44.4	42.3	50.0	48.1	46.2	53.8	80.8	54.2	29.2	62.5	63.0	51.5
スポーツ ルーム	西	96.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	95.8	95.8	100.0	100.0	99.0
	東	100.0	96.3	100.0	96.2	92.6	100.0	100.0	100.0	95.8	91.7	100.0	92.0	97.1
セミナー室	A	92.0	81.5	92.3	100.0	81.5	100.0	96.2	92.3	87.5	79.2	91.7	96.3	90.9
	B	80.0	77.8	84.6	92.3	77.8	92.3	84.6	96.2	83.3	75.0	95.8	88.9	85.7
会 議 室	1	100.0	81.5	100.0	100.0	88.9	100.0	96.2	96.2	83.3	87.5	91.7	92.6	93.2
	2	100.0	77.8	96.2	100.0	85.2	96.2	96.2	96.2	87.5	87.5	91.7	96.3	92.6
	3	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	4	96.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	99.7
	5	96.0	96.3	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	96.2	100.0	95.8	100.0	96.3	98.4
	6	100.0	92.6	100.0	96.2	96.3	100.0	100.0	100.0	95.8	91.7	100.0	100.0	97.7
	7	100.0	96.3	100.0	100.0	92.6	100.0	100.0	100.0	100.0	95.8	100.0	100.0	98.7
	8	100.0	88.9	100.0	100.0	85.2	100.0	96.2	100.0	91.7	91.7	100.0	100.0	96.1
	9	100.0	96.3	100.0	96.2	88.9	92.3	96.2	96.2	100.0	91.7	100.0	100.0	96.5
	10	100.0	96.3	100.0	96.2	96.3	92.3	96.2	100.0	100.0	95.8	100.0	100.0	97.8
	11	92.0	85.2	100.0	96.2	77.8	96.2	92.3	100.0	95.8	91.7	100.0	96.3	93.6
和 室	A	76.0	77.8	65.4	76.9	48.1	76.9	84.6	76.9	79.2	79.2	83.3	70.4	74.6
	B	64.0	63.0	57.7	69.2	55.6	73.1	73.1	76.9	75.0	83.3	75.0	63.0	69.1
ビデオシアター		92.0	81.5	92.3	84.6	80.8	96.2	80.8	80.8	91.7	87.5	95.8	85.2	87.4
音 楽 室		84.0	100.0	96.2	92.3	84.0	84.6	96.2	100.0	91.7	91.7	100.0	96.3	93.1
調理コーナー		76.0	66.7	76.0	75.0	55.6	76.9	65.4	96.2	95.8	79.2	95.8	88.9	79.0
フィットネスルーム		92.0	96.3	100.0	100.0	70.4	92.3	92.3	92.3	95.8	95.8	100.0	96.3	93.6
月別平均(%)		90.0	86.2	91.0	91.9	82.1	91.6	90.9	94.4	90.9	87.1	94.7	91.9	90.2
入館者数(人)		38,321	41,838	42,386	41,710	38,823	47,968	41,922	41,284	35,087	33,019	37,994	43,618	40,331
1日平均(人)		1,533	1,550	1,630	1,604	1,438	1,845	1,612	1,588	1,462	1,376	1,583	1,615	1,570
施設見学件数		1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1

平成26年度 京都市男女共同参画センター利用状況(時間帯別)

(単位:%)

	日数使用率※	区分使用率			
		午前	午後	夜間	平均
イベントホール	51.5	37.3	45.3	21.6	34.7
スポーツルーム西	99.0	85.4	77.6	94.1	85.7
スポーツルーム東	97.1	67.0	57.7	88.0	70.9
セミナー室 A	90.9	59.4	81.4	53.4	64.7
セミナー室 B	85.7	49.6	73.3	41.8	54.9
会議室 1	93.2	60.2	88.9	55.4	68.2
会議室 2	92.6	62.6	85.9	61.9	70.1
会議室 3	100.0	95.8	97.1	89.7	94.2
会議室 4	99.7	90.2	95.8	79.6	88.5
会議室 5	98.4	91.3	96.1	80.3	89.3
会議室 6	97.7	85.4	96.4	74.6	85.5
会議室 7	98.7	86.5	94.9	89.8	90.4
会議室 8	96.1	80.0	93.1	80.1	84.4
会議室 9	96.5	87.1	92.0	73.1	84.1
会議室 10	97.8	87.6	94.9	71.0	84.5
会議室 11	93.6	65.5	87.4	66.9	73.3
和 室 A	74.6	38.6	70.7	43.5	50.9
和 室 B	69.1	37.5	63.2	30.7	43.8
ビデオシアター	87.4	52.7	83.8	31.9	56.2
音楽室	93.1	65.2	80.6	46.2	64.0
調理コーナー	79.0	51.4	75.1	21.8	49.4
フィットネスルーム	93.6	72.5	76.1	81.5	76.7
全室平均使用率	90.2	68.6	82.2	62.6	71.1
入館者総数	483,970 人(一日平均 1,570 人)				
年間開所日数	308 日				

組織体制(平成26年4月現在)



平成26年度研修一覧

●総務関係(公益法人等)

NO	研修内容	対 象	日 時	人数
1	4月期公益法人定期講座「労働時間管理の知識(パートⅡ)」	総務	4月18日	1
2	平成26年度「女性関連施設・地方公共団体・団体リーダーのための男女共同参画推進研修」について	総務	5/21~23	1
3	公益法人の新任役職員のための会計基準と新制度の概要	総務	6/13	1
4	7月期公益法人定期講座「労働時間管理の知識(パートⅡ)」	総務	7/18	1
5	8月期公益法人定期講座「公益法人への内部統制」	総務	8/21	1
6	第1回健康保険・年金委員合同研修会	総務	9/5	1
7	男女共同参画の視点から防災を考える人材養成研修	総務	9/14・15	2
8	9月期公益法人定期講座「財務3基準が不達成となりそうな場合の対応策」	総務	9/26	1
9	平成26年度京都市基本事務研修	事業	10/17 11/25	1
10	ワーク・ライフ・バランス経営者セミナー 仕事と介護の両立支援について	総務	12/2	1
11	1月期公益法人定期講座「最新の法改正から見た紛争の予防と対応」	総務	1/22	1
12	平成26年度京都市基本理念研修	事業	1/8	1
13	産業保健研修会 「キャリアカウンセラーの視点からメンタルヘルスを考える」	総務	2/24	1
14	産業保健研修会 「休職と職場復帰に係る法律上の問題と就業規則の規程のポイント」	総務	3/17	1
15	第2回健康保険・年金委員合同研究会	総務	2/13	1
16	外郭団体におけるコンプライアンス推進対策会議及び外郭団体実務講習	総務	1/30	1
17	改正パートタイム労働法・改正次世代法説明会	総務	1/27	1
18	男女共同参画センター等の管理者などの情報交換会	総務	2/12・13	1
19	施設管理運営ソリューションセミナー	総務	2/26	1
20	3月期公益法人定期講座 公益・一般法人の理事・監事のためのわかりやすい決算書講座	総務	3/6	1
21	メンタルヘルス研修	管理職	2/19	5
22	公益法人会計勉強会	管理職	2/6	7

●事業関係

NO	研修内容	対 象	日 時	人数
1	男女共同参画施策に関わる職員のための研修プログラム	事業	5/29 6/12・19	1
2	図書実務担当者のためのステップアップ研修	事業	8/22・23	1
3	男女共同参画施策に関わる職員のための研修プログラム	事業	9/24 10/1	1

●相談関係

NO	研修内容	対象	日時	人数
1	臨時職員研修 相談員のための「はじめての男女共同参画講座」	相談	5/19	2
2	臨時職員研修 他機関訪問「京都市DV相談支援センター」	相談	7/14	2
3	第1回女性のための相談ネットワーク会議 「人格とパーソナリティ～パーソナリティ障害の真実」	相談	7/8	1
4	第2回女性のための相談ネットワーク会議「事例研究」	相談	2/3	1
5	アルコールと健康を考えるセミナー	相談	8/2	1
6	平成26年度第2回DV被害者支援専門研修 「DV被害者への面接対応についてのロールプレイ」	相談	10/27	1
7	平成26年度第3回DV被害者支援専門研修 「DV被害者の支援制度」「DV被害者の心理」	相談	2/9	1
8	全国男性相談研修会	相談	11/23	1
9	事例から学ぶ女性相談	相談	11/5. 18. 26	1
10	知っておきたい法律知識「第2回妻が離婚を考えると き 離婚の基礎知識」	相談	12/1	1
11	スーパーバイザーによる研修「DVとフェミニストカウンセリング」	相談	5/31	7
12	スーパーバイザーによる研修「大藪順子勉強会を見学して」	相談	6/28	7
13	一般相談員の事例研究（スーパービジョン）	相談	7/26～3/24 (9回)	7
14	第1回配偶者からの暴力相談ネットワーク京都会議実務者会議 「DV対策に関わる関係機関・団体の取組」	相談	7/24	1
15	第2回配偶者からの暴力相談ネットワーク京都会議実務者会議 「デートDV相談の実際」	相談	8/15	1
16	京都府犯罪被害者支援連絡協議会性犯罪被害者対策研究分科会 「性犯罪被害者支援について」「障害をもつ被害者について」	相談	2/18	1
17	中京相談連絡ネットワーク会議「護身術教室」ほか	相談	12/5	1
18	京都府家庭支援センターと府内配偶者からの暴力相談支援センターの連絡会 「入所から退所までの事例について」ほか	相談	1/27	1
19	専門相談連絡会議「専門相談員と一般相談員相互による事例研究」	相談	3/7	10

●派遣研修

NO	研修内容	対象	日時	人数
1	臨時職員研修「みんなで考える男女共同参画講座」	新人職員	4/26	2
2	臨時職員研修「相談員のためのはじめての男女共同参画講座」	新人職員	5/19	2
3	派遣職員研修「みんなで考える男女共同参画講座」	新人職員	5/27	1

●全職員研修

NO	研修内容	対象	日時	人数
1	健康講座「腰痛・肩こり予防体操」	全職員	3/9. 13	19

●危機管理関係

NO	研修内容	対象	日時	人数
1	消防訓練 避難器具・避難経路の確認	新人職員	6/30	5
2	AED救急救命講習	全職員	11/12	50